

VOL.18

WEST 2023. August
TAKE FREE

MEG

Mixture
Entertainment
Guide

Cover Artist
Special Interview

イッセー尾形

80年代から始めた「一人芝居」から
選りすぐりの作品を上演！
市井の人々を演じる久しぶりの神戸公演。

やっぱり落語がおもしろい！

落語鑑賞、事始めのススメ

Special Interview
大萩康司×宮田 大／松井拓史×水谷友彦
庄司紗矢香／サーカス
鈴木優人／神尾真由子／李 祥太／挾間美帆
徳尾浩司×宮川彬良×阪本洋三
藤山直美×中村鴈治郎×中村扇雀×田村 亮
吉田簑紫郎／アリアーヌ・ムヌーシュキン
〈掲載順〉

イッセー尾形

舞台にテレビ、時にはアーティストとして幅広いフィールドで活躍するイッセー尾形。
なかでも1980年代に始めた「一人芝居」は、独特の世界観で人々を魅了し、「一人芝居の第一人者」として根強いファンを獲得している。
今年はフリーになって10年目。その間に演じてきた「一人芝居」から選りすぐりの作品を上演する「イッセー尾形一人芝居in 神戸」が開催される。
フリーとなって初めての神戸公演にかける思いを聞いた。

── 神戸では久しぶりの公演となるそうですが、関西の観客の印象は。

関西は、いいものは何だということを知っている気がしますね。反応がいいんですよ。やらせ上手だし、乗せ上手。パフォーマーにとってはすごくやりがいがあります。僕は、次のセリフはどんな口調、音で表現しようかとお客さんとの緊張感の中で決めていくことがある。それが試せるんですよね、関西は。

── そして次は、神戸で新しいことをやっていくと。

フリーになって10年、そこでいろいろな作品がたまっているので、その中からダイジェスト版か、春に大阪で発表した新作から選択するか、現在構想中です。「詐欺防止留守番電話（Y's電気）」は鉄板ネタなので、最初の演目にはよいかも。

── 迷惑電話防止システムの設定確認に来た人が、訪問先であれこれハプニングに出会うお話ですね。正しさと罪は表裏一体で自分も…というシニカルな面白さに溢れています。作品やキャラクターを作る時、大事にしていることはなんですか？

こんな人いるなとか、この人が自分に迫ってきたらどうしようと思う、そんな人物を作ることですね。一人芝居をやり始めたころの作品「バーテン」は、世の中を知らない男が自分の小さな城の中で若いやつらにえらそうにして、井の中の蛙ぶりを追ったネタです。あれが一人芝居の基本でした。それからいろんなネタを作ってきましたね。言いわけをして逃げ回る人とかね。言いわけって、ぎりぎりまで追い込まれた瞬間、その場しのぎに出るわけで、可能性は無限大にあると思うんです。誰しも持っている「言いわけの無限性」ですよね。僕は、そこにたどり着きたいんですよね。

── 最近ではロリータ少女、中華料理店のおばちゃん、ストーカーではないと言い張る優等生、税金支払いの窓口でごねる人など個性的なキャラクターがますます増えました。

舞台に登場した直後にこの人はどんな人物なのか、がわかるようにしてます。「ロリータ少女」のネタは、実際に僕が文具屋さんの前でロリータファッションの女の子を見かけたところから着想を得ています。乱雑な都会の中にポツンと少女がいるけれど、彼女はかわいい文具が好きな普通の少女で、もしかしたらロリータファッションは彼女の防御服なのではないか。そんな繊細な少女がお母さんと出会いたいのになかなか出会えない…という設定がおもしろいのではないかと。そうやって作った作品です。



僕の一人芝居、主人公は「庶民」。
精神が自由だから、何にでもなれるんです。

── 10年の間には、コロナ禍がありました。時代の空気に何か変化を感じますか？

以前はもっと感覚的にやってきたことへの、言語化が進んだような気がします。時代はいろいろなことを強要してくるので、要請には従順だったと思うんですが、今はそれゆえにはじき出されてしまう人もいる。ギリシャ神話で言うところの悲劇ですよ。従順なのに理不尽というか。そこに興味を持ってます。好き嫌いではなく、構造の話。責任を取る人は弾かれてしまうし、責任はどこに?と問われると、取らざるをえない人もいて。

── まさにコロナ禍の2年前にシェークスピアを題材にした『シェークスピア・カバーズ』を出版されましたが、庶民が主役の物語が多かった。やはり庶民に惹かれるものが？

そうですね。自分が庶民だと思っているからね。それに庶民には可能性がある。大爆発するかもしれないし、休火山になるかもしれない。王様はずっと王様なのだけど、庶民は精神が自由なの。だからオールラウンドプレイヤーなんですよ。底から上を見あげる視点は人の数だけあるんです。精神は自由だからこそ、何にでもなれる。だからこそ、ネタもどんどん変わっているし、それは、僕自身も変わっているということです。1つの方向には逆方向が絶対にある。普遍的なものには、今の時代だからこそ存在する逆方向の視点がある、それを両方兼ね備えたものを作っていきたいですね。

── どんどん変化を遂げて、神戸の舞台を迎えるということですね。会場では、イッセーさんが作られた紙粘土の作品展もあるとのこと。来場されるみなさんへひとこと!

以前、神戸で予定していた公演が、震災で中止になって。当時僕はすでに、大阪から船で三ノ宮に入っていたんです。その時、崩れた家屋をいくつもみました。本当に凄まじい体験をして、立ち直った都市ですよ。神戸のみなさんは言葉では言い尽くせないことがいっぱいあったと思うんですね。だから、その気持ち、出せなかった言葉に見合うネタになれたらいいと思います。それに値するネタでありたいです。気持ちと言葉の間に、橋が架かるといいなと思っています。

◎Interview&Text／田村のりこ
◎Photo／内池秀人

MEG Cover Artist Special Interview SSAYOGATA







11/25 SATURDAY・26 SUNDAY
【8/26(土)チケット発売】
「イッセー尾形 一人芝居 in 神戸」
■会場／神戸朝日ホール　■開演／各日14:00
■料金（税込）／全席指定¥5,600
※神戸朝日ホールオンラインチケット（事前登録要）
https://www.kobe-asahihall.jp/
チケットサンライズほかで販売
■お問合せ／神戸朝日ホール TEL.078-333-6540
（10:00～17:00 土日祝除く）
【東京公演】
◎12/1(金)～12/3(日) 有楽町朝日ホールにて開催

やっぱり落語がおもしろい!
落語鑑賞、事始めのススメ

○監修／桂かい枝
○text／MEG編集部

知ってるようでよく知らない落語。テレビでよく見る落語家さんの顔は知ってるけど、本職の落語も聞いてみたいな…。そんな落語ファン予備軍も多いはず。でも難しそうだし、何から始めれば良いのかわからないというMEG読者に向けて、上方落語界の風雲児、桂かい枝師匠に落語の世界をわかりやすく解説していただきました。まずは落語ワールドへの扉を勇気を出して開いてみましょう。エンタメ好きなあなたに新たな楽しみがまた増えること請け合いです。



KATSUKA KAISHI
桂かい枝

1969年兵庫県生まれ。1994年に五代目桂文枝に入門。1997年より世界各国の海外公演を経て帰国。2005年文化庁芸術祭演芸部門新人賞、咲くやこの花賞の受賞を皮切りに受賞歴多数。現在は国内での公演活動のかたわら、NHKワールドテレビでは「RAKUGO NIPPON!」にレギュラー出演。古典から新作までオールカバーで活躍する落語家。また「えいご落語」、「やさしい日本語落語」の普及のための公演活動も積極的に行う。

撮影:佐藤浩

First 3 Steps

STEP 1 まずは落語をライブで体感してみましょう!

テレビやラジオ、CDやDVDでも落語の名演が収録されていますが、とにかく、まずはライブで見て、会場の観客と落語家との一体感を感じてもらうことが大事です。様々な場所で落語のポスターやチラシを見かけると思いますし、インターネットでの検索でもいいでしょう。そんな身近なところから、ぜひ落語の"生"を体験してみてください。ただお話を聴くというより、落語は観客自身が頭の中で登場人物になりきっていくという独特の楽しさがあります。多くの映像資料よりも一回のライブ体験で落語の面白さに触れていくことが第一歩だと思います。

STEP 2 興味のある落語家や演目の公演に行ってみる

最初は自分に合う落語家さんとかネタ(演目)がわからないと思います。だからテレビなどで知っている落語家の名前が入っている公演にとりあえず行ってしまうのがいいでしょう。知らない人がお喋りしているのは退屈でしょう。少しでも知っている人だと興味も持続するんじゃないでしょうか。あと動画配信サイトなどで、多くの落語家が実演を公開していたりします。そんなザッピングの中から、面白そうな落語家や演目を探してみるのもいいんじゃないでしょうか。入門者としてわかりやすくて必ず笑える演目としては「動物園」「時うどん(そば)」「堪忍袋」「代書(屋)」「手水廻し」あたりがおすすめです。ご自分が興味を持てる部分から落語の世界に入口を探してみてください。

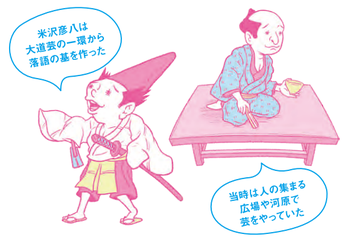
STEP 3 落語の楽しみ方

落語には古典といわれる、昔から人々に愛されて多くの落語家が演じてきた演目や、新作落語といわれる今の時代を反映した新しい落語があります。また落語はひとりで多くの登場人物の役をやりますが、自分の脳内で登場人物たちが別々に存在するようになっていく快感をぜひ味わってください。また、落語は声色を真似たりしません。おじさんがお姫様の役を地声でやってしまいますが、不思議なことにそれがお姫様に感じられていくのも醍醐味だと思います。

雑学 1 そもそも落語っていつからあるの?



諸説ありますが、定説となっているのは、落語の祖と、落語家の祖というふたつの考え方です。落語の祖とされているのは、実はお寺のお坊さんだったんです。安楽庵策伝(あんらくあんさくでん)という京都・誓願寺の55代の法主を務めた偉いお坊さんが、説法の中に笑いの要素を取り入れて、民衆に解りやすく仏教の教えを説いたというもの。この方の小噺のネタを集めた「醒睡笑」は、後の笑話集のさきがけといわれています。これは今も出版されていますし、現代語訳なども出ています。現在の落語の原型となる、いわゆるショートショートの笑い話ですが、これが落語というものの原型になったとされています。



次に落語家の祖。笑いという芸をやってお金を得るという、プロとしての始祖ですが、まず有名な米沢彦八が上方(大阪)、鹿野武左衛門が江戸(東京)で、そして露の五郎兵衛(京都)の三人。いずれも江戸中期の人ですが、路上や河原で、芸とともに、おもしろい噺をして人々からお金を得るプロとしての始祖だといわれています。大阪、東京、京都で同時発生的にこういった芸が流行したんでしょうね。当初は一瞬芸みたいな短いものだったようですが、そこから約100年後、初代桂文治という当時の上方の落語家が常打ちの寄席(落語専用の劇場)を、大阪市中央区の坐間神社の境内に開設して、徐々に今のような落語に移行していったといわれています。



雑学 2 上方落語と江戸落語って何が違うの?



上方(大阪)落語のルーツは神社の境内や河原で行われていた辻噺(つじばなし)という大道芸です。その後、江戸(東京)落語は、お座敷中心の芸に発展します。江戸は武士中心の社会でしたから、なかなか政治や武家の批判をやりにくい、ゆえにお座敷にお客を集めて落語をやっていた。対して大阪は商人の町で、おおっぴらに批判を含めて役人を笑いものに出来たのでしょう。だから上方落語では鳴り物(楽器)を使ったエンタメ色の強いハメモノという演出が発展します。江戸落語は座布団一枚でじっくり聴かせる人情噺に人気が出て来ます。今でも上方落語は派手な演出で笑えるものが、江戸落語はストーリーを聴かせる人情噺が好まれる傾向があります。

気になる落語周りの疑問を桂かい枝さんに聞いてみました

らくごの雑学

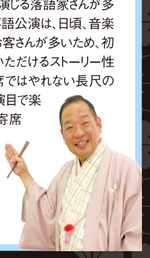
雑学 3 ハメモノとイロモノ



上方落語が発祥といわれる"ハメモノ"は、落語の演出法のひとつで、情景描写や心理描写を、鳴り物(太鼓、笛、三味線などの楽器)を使って、寄席の風情や、幽霊の登場など、状況を際立たせて落語を盛り上げていきます。また、寄席では、いくつかの落語の演目の間に"イロモノ"といわれる演目が登場することもあります。奇術や紙切りなど、想像力を使って楽しむの間で、目や耳で楽しむ諸芸の総称です。会場の表看板では、赤字で出演者が掲出されているので、ひと目でイロモノ(諸芸)の演者が出演するのだとわかります。

雑学 4 ホール落語と寄席落語は何が違う?

下記にご紹介している大規模なホールでの落語と、寄席で行われる寄席興行の違いですが、毎日興行をやっている大阪の天満天神繁昌亭や、神戸新開地の喜楽館の昼席では、気軽に楽しんで頂ける、わかりやすい演目を演じる落語家さんが多いです。ホールで行われる落語公演は、日頃、音楽や演劇を楽しんでおられるお客さんが多いため、初心者から通の方まで納得いただけるストーリー性の高い人情噺や長講(寄席ではやれない長尺の大ネタ)など振れ幅の広い演目で楽しめると思います。毎日の寄席興行でいろんな落語家さんの実演が見れますし、ホール興行ではその落語家さんの芸にじっくり浸ってもらえると思います。



MEG推し VOL.03 10月に新たな落語文化のための落語会「ハナサクラクゴ VOL.3」が"MEG推し"として開催されます

今号で特集の監修をしていただいた桂かい枝さんはじめ落語家さんと、ストーリーを創る落語作家さんの丁々発止の公演の第三弾が行われます。トークタイムなどもあるので入門者には最適なイベントです。



10/13 FRIDAY【チケット発売中】
「ハナサクラクゴ VOL.3」
■開場／天満天神繁昌亭
■開場／18:00(開演18:30)
■料金(税込)／¥3,500(前売当日共)
■お問合せ／三平企画 TEL.06-6631-0659 (平日10:00～17:30)
有料配信も予定▶

撮影:佐藤浩

落語公演情報 RAKUGO EVENT INFORMATION

各地で開催されるオススメ公演をご紹介!

8/27[日] 発売中
第二十七回 さざんか寄席
○出演／笑福亭福笑、笑福亭松枝、桂楽珍、桂麒麟、桂三河
■会場／大和高田さざんかホール 小ホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 木戸銭¥1,800
■お問合せ／大和高田さざんかホール TEL.0745-53-8200



9/14[木] 発売中
第16回茨木ハチマル落語会「東西落語ユニットwe」
○出演／桂雀太、桂そうば、桂宮治、入船亭扇橋
■会場／茨木市立男女共生センター[ローズWAM]ワムホール
■開演／14:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥1,500
■お問合せ／公益財団法人茨木市文化振興財団 TEL.072-625-3055



9/17[日] 発売中
第47回東西落語名人選
○出演／三遊亭小遊三、春風亭小朝、柳亭小痴楽 桂福團治(昼のみ)、桂文枝(夜のみ)、笑福亭福笑、齋の新治
■会場／神戸文化ホール 中ホール
■開演／[昼の部]13:00 [夜の部]17:30
■料金(税込)／全席指定 一階席¥6,000 二階席¥5,500
■お問合せ／神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349



9/18[月・祝] 発売中
柳亭小痴楽 全国ツアー カチコミ'23
○出演／柳亭小痴楽
■会場／プリーゼプラザ 小ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 ¥3,500
■お問合せ／ページワン TEL.06-6362-8122 (火・木曜日11:00～16:00)



9/19[火] 当日会場販売
桂米朝一門 花形落語の会 第120回記念めいぶるごこんばやしの会
○出演／桂米紫、桂吉弥、桂雀々、桂宗助、桂三扇、桂ひろば
■会場／箕面市立メイプルホール 大ホール ■開演／18:30
■料金(税込)／全自由席 大人¥1,500 小学生以下¥700(メイプルフレンド会員割引あり)
■お問合せ／箕面市立メイプルホール TEL.072-721-2123



9/28[木] 発売中
第17回 茨木ハチマル落語会 林家花丸のいろとりどり寄席
○出演／林家花丸、林家染八、桂九ノ一
■会場／茨木市市民総合センター(クリエイトセンター) センターホール
■開演／14:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥1,500
■お問合せ／茨木市文化振興財団 TEL.072-625-3055



10/6[金] 発売中
春風亭昇太 独演会
○出演／春風亭昇太
■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 ¥4,000
■お問合せ／芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255(10:00～17:00月曜休※祝日の場合翌日)



9/19[火] 当日会場販売
桂米朝一門 花形落語の会 第122回 わかばDEきまる
○出演／桂わかば、桂ちょうば、桂鯛蔵 ほか
■会場／箕面市立メイプルホール 小ホール ■開演／18:30
■料金(税込)／AV¥5,000 ※3,000 A席遠し券¥7,500 小学生以下¥700(メイプルフレンド会員割引あり)
■お問合せ／箕面市立メイプルホール TEL.072-721-2123



10/21[土] 発売中
秋の特選落語競演会2023
○出演／[昼の部]桂南光、桂文治、桂雨天、桂まん我 ほか [夕の部]桂南光、桂塩鯛、桂米團治、桂吉弥 ほか
■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
■開演／11:30、15:30
■料金(税込)／AV¥5,000 ※3,000 A席遠し券¥7,500
■お問合せ／芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255(10:00～17:00月曜休※祝日の場合翌日)



10/22[日] 発売中
桂宮治 全国ツアー2023 ～Remember Miyaji～
○出演／桂 宮治
■会場／神戸朝日ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 ¥3,500
■お問合せ／ページワン TEL.06-6362-8122 (火・木曜日11:00～16:00)



10/15[日] 発売中
サンケイホールブリーゼ 米朝一門落語会シリーズ2023 桂塩鯛 独演会
○出演／桂塩鯛、桂まん我、桂弥壱
■会場／サンケイホールブリーゼ ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SV¥4,500 A¥4,200
■お問合せ／プリーゼチケットセンター TEL.06-6341-8888(11:00～15:00)



10/26[木] 発売中
かわにし寄席 桂 米朝 一門会
○出演／桂南光、米團治、八十八、南天、ひろば、弥壱
■会場／みつなかホール ■開演／18:30
■料金(税込)／一般¥3,000 割引(小・中・高生、障がいのある人)¥2,000
■お問合せ／みつなかホール TEL.072-740-1117



11/13[月] 発売中
鳳凰亭落語シリーズ 桂米團治 独演会
○出演／桂米團治、桂佐ん吉、桂慶治朗
■会場／フェニーチェ堺 小ホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 ¥4,000
■お問合せ／フェニーチェ堺公演案内 TEL.072-223-1000 (9:00～20:00 第1・3月曜の休館日をのぞく)



11/14[火] 9/24(日)発売
第368回 京都市民寄席
○出演／森乃阿久太、露の吉次、桂勢朝、笑福亭仁福
■会場／ロームシアター京都 サウスホール ■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定 前売¥1,800 当日¥2,000 ユース(25歳以下)¥1,500(前売・当日とも)
■お問合せ／ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201



11/19[日] 8/27(日)発売
サンケイホールブリーゼ 米朝一門落語会シリーズ2023 桂雀三郎 独演会
○出演／桂雀三郎、桂雀喜、桂りょうば
■会場／サンケイホールブリーゼ ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SV¥4,500 A¥4,200
■お問合せ／プリーゼチケットセンター TEL.06-6341-8888 (11:00～15:00、発売日のみ10:00～)



11/25[土]・26[日] 9/17(日)発売
桂 文珍 兵庫大独演会 ～ネタのオートクチュール～
○出演／桂文珍
■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
■開演／11月25日(土)14:00 11月26日(日)13:00
■料金(税込)／全席指定 ¥4,500
■お問合せ／芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255(10:00～17:00月曜休※祝日の場合翌日)



12/2[土] 9/7(木)発売
第8回 桂南天独演会
○出演／桂南天、桂まん我、桂りょうば
■会場／京都府立文化芸術会館
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 ¥3,200
■お問合せ／京都ミューズ TEL.075-353-7202



12/13[水] 発売中
鳳凰亭落語シリーズ 桂吉弥 独演会
○出演／桂吉弥、桂吉の丞、桂弥っこ
■会場／フェニーチェ堺 小ホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 ¥4,000
■お問合せ／フェニーチェ堺公演案内 TEL.072-223-1000 (9:00～20:00 第1・3月曜の休館日をのぞく)



12/16[土] 10/13(金)発売
ピッコロ寄席「桂吉朝一門会」
○出演／桂あさ吉、桂吉弥、桂よね吉、桂吉坊、桂吉の丞
■会場／ピッコロシアター 大ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥3,000 高校生以下¥1,500
■お問合せ／ピッコロシアター TEL.06-6426-1940



12/23[土] 発売日未定
神戸朝日ホール オープニングシリーズ2023-2024 春風亭一之輔 独演会2023
○出演／春風亭一之輔
■会場／神戸朝日ホール
■開演／14:00
■問合せ／神戸朝日ホール TEL.078-333-6540 (10:00～17:00 土日祝除く)



11/13[土] 9/19(火)発売
神戸朝日ホール オープニングシリーズ 2023-2024 南光 南天 二人会
○出演／桂南光、桂南天、桂りょうば
■会場／神戸朝日ホール
■開演／13:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥4,000
■お問合せ／神戸朝日ホール TEL.078-333-6540 (10:00～17:00 土日祝除く)



'24 1/27[土] 11/3(金・祝)発売
カルチャースクエア No.12 「新春こども落語ワークショップ」
○出演／露の眞
■会場／東大阪市文化創造館 多目的室 ■開演／13:30
■料金(税込)／¥500 ※対象小学生
■お問合せ／東大阪市文化創造館 TEL.06-4307-5772 (9:00～20:00 第2火曜、年末年始休館)



'24 2/10[土] 発売日未定
鳳凰亭落語シリーズ 春風亭一之輔 独演会
○出演／春風亭一之輔 ほか
■会場／フェニーチェ堺 小ホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 ¥4,000
■お問合せ／フェニーチェ堺公演案内 TEL.072-223-1000 (9:00～20:00 第1・3月曜の休館日をのぞく)



'24 3/12[火] '24 1/12(日)発売予定
第18回茨木ハチマル落語会「桂南天の会」
○出演／桂南天 ほか
■会場／茨木市市民総合センター センターホール
■開演／14:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥1,500
■お問合せ／公益財団法人茨木市文化振興財団 TEL.072-625-3055



'24 3/17[日] 発売日未定
鳳凰亭落語シリーズ 桂宮治 独演会
○出演／桂宮治 ほか
■会場／フェニーチェ堺 小ホール ■開演／13:00
■料金(税込)／全席指定 ¥4,000
■お問合せ／フェニーチェ堺公演案内 TEL.072-223-1000 (9:00～20:00 第1・3月曜の休館日をのぞく)



'24 1/13[土] 9/13(水)発売
すばる寄席 桂文之助 独演会
○出演／桂文之助、桂紅雀、桂慶治朗
■会場／すばるホール2階小ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席自由 一般¥2,200(当日300円増) ペア¥4,000(前売のみ)
■お問合せ／すばるホール TEL.0721-25-0222



'24 1/13[土] 10月下旬発売
鳳凰亭落語シリーズ 桂かい枝 独演会
○出演／桂かい枝 ほか
■会場／フェニーチェ堺 小ホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 ¥3,000
■お問合せ／フェニーチェ堺公演案内 TEL.072-223-1000 (9:00～20:00 第1・3月曜の休館日をのぞく)



読売テレビ

https://www.ytv.co.jp/event/

ルーヴル美術館展　愛を描く

6/27 TUESDAY ～9/24 SUNDAY

チケット発売中

愛はどこにでもある、と同時に本当はどこにあるのでしょう…
ルーヴルの名画に宿る、愛のストーリー73点が京都に！
特別な誰かに恋焦がれる神々や人々の情熱や欲望、
官能的な悦び、そして苦悩や悲しみ…
神が人に注ぐ無償の愛、人が神に寄せる愛…
16世紀から19世紀半ばまで、73点の名画を通じて、西洋絵画における「愛」の表現の諸相をひもとく展覧会です。



フランソワ・ブーシェ《アモルの標的》1758年 パリ、ルーヴル美術館蔵
Photo ©RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Gérard Blot / distributed by AMF-DNPartcom

■会場／京都市京セラ美術館
■時間／9:00～18:00（入場は閉場の60分前まで）
■料金（税込）／一般¥2,100　高大生¥1,500　小中学生¥1,000
［団体］一般¥1,900　高大生¥1,300　小中学生¥800
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦
■Pコード／686-431　■Lコード／52185
■お問合せ／京都市京セラ美術館 TEL.075-771-4334
［チケットお問合せ］キョードーインフォメーション
TEL.0570-200-888（11:00～18:00 日祝休み）
※未就学児無料 ※その他企画チケットあり
※障がい者手帳等をお持ちの方（要証明）と同伴される介護者1名は無料

日本テレビ開局70年記念舞台 西遊記

11/3 FRIDAY HOLIDAY ～5 SUNDAY

8/27(日)～チケット発売

◎演出／堤 幸彦◎出演／片岡愛之助（孫悟空）、小池徹平（三蔵法師）、戸次重幸（猪八戒）、加藤和樹（沙悟浄）、村井良大（玉竜）、藤岡真威人（紅孩児）、中山美穂（鉄扇公主）、松平 健（牛魔王）

一世を風靡したあの名作が帰って来る！ 変幻自在、抱腹絶倒、危機一髪、アクションスペクタクルの決定版！ 片岡愛之助（孫悟空）主演、豪華キャストで描く令和版『西遊記』
数多の妖怪を打ち斃し、天竺への長い道のりを歩む三蔵一行、涙あり、笑いあり、人間ドラマあり、孫悟空、猪八戒、沙悟浄たちとともに愉快で摩訶不思議な旅は続く…。演出は映画監督としても大ヒット作を次々と手掛けてきた鬼才・堤幸彦。LEDやフライングなどを駆使した新演出にも注目。



■会場／オリックス劇場
■開演／11月3日(金・祝)18:00　11月4日(土)・5日(日)11:00、16:30
■料金（税込）／全席指定　S¥15,000　A¥9,500　B¥5,500
■チケット取扱い／下記①②③⑥
■お問合せ／梅田芸術劇場 TEL.06-6377-3800（10:00～18:00）
※未就学児入場不可

ディズニー・オン・アイス 100 Years of Wonder

9/1 FRIDAY ～3 SUNDAY

チケット発売中

マジックモービルに乗ったミッキーマウス、ミニーマウス、ドナルドダック、グーフィーとご一緒に、『アナと雪の女王』『アラジン』『ライオン・キング』『モアナと伝説の海』といった多くの方に愛されるディズニー作品の世界へと旅に出かけます。数々のアクロバット演出や、華やかな衣装と色鮮やかな舞台演出で、会場は魔法に包まれます。さらに、『メリー・ポピンズ リターンズ』『トイ・ストーリー4』がディズニー・オン・アイス初登場。



©Disney　©Disney/Pixar

■会場／神戸ワールド記念ホール
■開演／公式ホームページでご確認ください
■料金（税込）／全席指定　S¥7,800　A¥5,800　プレミアム¥11,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦
■Pコード／648-652
■Lコード／50000
■お問合せ／ディズニー・オン・アイス関西公演事務局 TEL.0570-200-887
（平日・土曜11:00～18:00日曜・祝日休）
※2歳以下のお子様は大人1名につき1名まで膝上鑑賞無料
但しお席の必要な方は有料

ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2023

MANY DAYS

チケット発売中

ディズニー・アニメーションや映画、テーマパークの音楽を、ニューヨークで活躍するヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお贈りする、大人のための音楽会。今年は「With You ～愛を奏でる」をテーマに、『美女と野獣』を8年ぶりにフィーチャー！ 誰もが一度は聴いたことがある『美女と野獣』をはじめ、『ひとりぼっちの晩餐会』、『強いぞガストン』、『愛の芽生え』など、"真実の愛"の物語を、スクリーンの映像と照明演出とともにお届けします。
〈大阪公演〉◎10/7（土）・8（日）フェスティバルホール
〈神戸公演〉◎10/27（金）神戸国際会館こくさいホール
〈堺公演〉◎10/28（土）フェニーチェ堺



Presentation licensed by Disney Concerts. ©Disney

■開演／［大阪］10月7日（土）18:00、8日（日）15:00
［神戸］10月27日（金）19:00　［堺］10月28日（土）17:00
■料金（税込）／公式ホームページでご確認ください
■チケット取扱い／下記①②③⑤⑥
■Pコード／244-117　■Lコード／53290
■お問合せ／キョードーインフォメーション
TEL.0570-200-888（11:00～18:00 日祝休み）
※未就学児入場不可

イナズマロック フェス 2023

10/7 SATURDAY ～9 MONDAY HOLIDAY

チケット先行予約発売中

西川貴教主宰 滋賀県下最大の大型野外ライブイベント。ただ今、チケット先行予約受付中！
詳しくは「イナズマロック フェス」で検索
■出演（50音順）／［10/7（土）］Creepy Nuts、ゴールデンボンバー、−真天地開闢集団−ジグザグ、T.M.Revolution、Fear, and Loathing in Las Vegas、もいうクローバーZ ほか
［10/8（日）］UVERworld、T.M.Revolution、Perfume、FANTASTICS、04 Limited Sazabys、ラブライブ！ スーパースター!! Liella!、wacci ほか
［10/9（月・祝）］Da-iCE、DISH//、西川貴教、Novelbright、モーニング娘。'23 ほか



10/7-8出演（T.M.Revolution）　10/8出演（UVERworld）　10/7出演（Fear, and Loathing in Las Vegas）　10/8出演（FANTASTICS）

■会場／滋賀県草津市 烏丸半島芝生広場（滋賀県琵琶湖博物館西隣 多目的広場）　■開演／各日12:00（予定）
■料金（税込）／IGA 1日券¥13,000 ※ブロック指定、立見、入場整理番号付き　■チケット取扱い／下記②
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888（11:00～18:00 日祝休み）※3歳以上チケット必要 ※雨天決行（荒天の場合は中止）

万博花火プロジェクト 『万博夜空がアートになる日』2023

11/25 SATURDAY

9/9(土)～チケット発売

3万人が酔いしれた、あの感動を再び!! 太陽の塔がそびえ立つ万博記念公園を舞台に、夜空をキャンバスとした、花火と音楽の新感覚アートプロジェクト。1万5,000発の花火が、音楽に合わせ1/100秒単位のタイミングで打ち上げられる、花火と音楽がシンクロした60分間の"花火ミュージカル"！ 関西を代表する2府3県の伝統の花火職人が集結し、匠の技を競い合います。会場は全席指定席になっていて、どの席からも圧巻の花火を堪能できるので、ゆったりと花火と音楽を楽しみたい方にはオススメです。北摂の夜空をアートに染める秋の花火イベントをお楽しみください。



■会場／万博記念公園 東の広場
■時間／OPEN12:00　START18:30
■料金（税込）／ダイナミックシート¥10,500
パノラマシート・大人¥8,000　パノラマシート・子供¥4,000
S-VIPシート¥55,000　VIPシート¥33,000　カスシート¥11,000
■チケット取扱い／下記①
■お問合せ／万博花火プロジェクト 実行委員会
※表示価格は1席の料金です ※子ども料金（子ども3歳以上、小学生以下）
※チケット代には、自然文化園入園料が含まれています

超キン肉マン展

9/16 SATURDAY ～10/15 SUNDAY

チケット発売中

主人公・キン肉マンを始めとする個性満載の超人達。彼らがTVの中で繰り出す必殺技、激しい戦いに一喜一憂しと同時に、散りばめられたギャグ要素に笑顔がこぼれ、その先にある友情、愛に多くの人が興奮、そして感動を覚えました。今回、アニメ放送40周年を記念して『超キン肉マン展』を開催！ あの時、夢中になった超人がそこに!? あの必殺技を自身で体験!? 名シーンの再現やあのアイテム、さらにここでしか見られない貴重な資料の展示も！ あの頃、確かに私たちの傍にいた超人達。ぜひ、リアルな超人達を感じに来てください。



©ゆでたまご・東映アニメーション

■会場／大阪芸術大学スカイキャンパス（あべのハルカス24階）
■開演／［平日］13:00～19:00　［土・日・祝］11:00～19:00
※最終入場は18:30 まで ※9月19日（火）・25日（月）・10月2日（月）休館
■料金（税込）／大人（中学生以上）¥1,800（当日¥2,000）
こども（3歳～小学生）¥900（当日¥1,000）
■チケット取扱い／下記②③⑤⑥
■お問合せ／超キン肉マン展事務局 TEL.06-4862-7757
（平日10:00～17:00 開催期間中は開催時間内）

もしも猫展

9/23 SATURDAY HOLIDAY ～11/12 SUNDAY

チケット発売中

「もしも、うちの猫が人のように話したら？」そんな想像をしたことはありませんか。人間以外の何かを人間になぞらえることを擬人化とよびます。天保12年（1841）頃から、浮世絵師の歌川国芳は猫を擬人化したり、役者を猫にした作品を次々と発表していきます。本展では猫の擬人化作品と、それらを描いた歌川国芳を主軸に据えながら、江戸時代の擬人化表現の面白さに着目します。そのなかで、なぜ国芳作品にかくも惹きつけられるのか、その魅力のありかを探っていきます。



■会場／京都文化博物館4・3階展示室
■時間／10:00～18:00（金曜日～19:30）※入場は閉室30分前まで
■料金（税込）／一般¥1,400（当日¥1,600）
大高生¥800（当日¥1,000）
中小生¥300（当日¥500）
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦
■Pコード／686-499　■Lコード／54314
■お問合せ／京都文化博物館 TEL.075-222-0888
※本展は一部を除く作品の撮影が可能です
フラッシュや動画撮影はご遠慮ください

チケット取扱い　①チケットぴあ https://t.pia.jp　②ローソンチケット https://l-tike.com　③イープラス https://eplus.jp　④CNプレイガイド［オールジャンル］☎0570-08-9999［クラシック］☎0570-08-9990 https://www.cnplayguide.com/
⑤楽天チケット https://r-t.jp/　⑥セブンチケット http://7ticket.jp/　⑦アソビュー! https://www.asoview.com/　⑧梅田芸術劇場 https://www.umegei.com/ticket/

フェニーチェ堺

TEL.072-223-1000 《お問合せ　https://www.fenice-sacay.jp/ 《チケット購入OK

ニュウニュウ ピアノ・リサイタル 2023 Lifetime

10/18 WEDNESDAY

チケット発売中

◎ピアノ／ニュウニュウ ◎曲目／ロッシーニ/リスト編：『ウィリアム・テル』序曲、坂本龍一：エナジーフロー、リスト：『ラ・カンパネラ』、ベートーヴェン：ピアノソナタ 第23番『熱情』 ほか

6歳でデビューし、史上最年少の8歳で上海音楽院に入学。世界中のオーケストラや名指揮者と共演し、数々の最年少記録を更新してきた中国が誇る若手人気ピアニスト・ニュウニュウが、圧倒的な超絶技巧はもちろん、現代曲や自身が編曲した作品を含む魅惑のプログラムで贈る、珠玉のピアノ・リサイタル。



©Paul Tsang

■会場／フェニーチェ堺 大ホール
■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定　一般¥4,000　学生¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／244-047
■Lコード／53908
※未就学児入場不可

イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

11/18 SATURDAY

チケット発売中

◎指揮・音楽監督／ラハフ・シャニ ◎ピアノ／小林愛実 ◎管弦楽／イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 ◎曲目／ツヴィ・アヴニ 祈り、ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11、ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 作品92

ラハフ・シャニ指揮、イスラエル・フィル伝統の艶やかな弦楽器の調べ！ レナード・バーンスタイン、ズービン・メータからタクトを引き継いだ若き天才指揮者と世界有数のオーケストラの交歓に彩りを添えるのは、第18回ショパン国際ピアノコンクール第4位入賞で話題となった小林愛実。9年ぶりに響き渡るイスラエル・フィルの音色をご堪能ください。



■会場／フェニーチェ堺 大ホール　■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定　S¥19,000　A¥17,000　B¥15,000　C¥9,500　■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／240-954　■Lコード／51660　※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により出演者が変更となる場合があります

ベルリン・フィル八重奏団

11/30 THURSDAY

チケット発売中

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーが組織する多くの室内楽アンサンブルの中で一番長い歴史と伝統をもつ団体のひとつ、ベルリン・フィル八重奏団。現在に至るまで、ベルリン・フィルのトップ奏者および世界第一級の演奏家によって構成され、ベルリン・フィルで第1コンサートマスターを務める日本人、樫本大進も所属。"存在する八重奏曲の中で最も美しい"とメンバーの1人も語るシューベルト『八重奏曲 ロ長調』など、8人のトップ奏者が奏でる至高のハーモニーをお楽しみください。



©Simon Pauly

■会場／フェニーチェ堺 大ホール　■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定
S¥8,000　A¥5,000　B¥3,500
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／244-409　■Lコード／54301
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により出演者が変更となる場合があります

フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン with 中谷美紀〈カーニバル（謝肉祭）〉

12/15 FRIDAY

チケット発売中

ウィーン・フィル／ベルリン・フィルから集まった世界最高の演奏家が全身で音楽の喜びを表現する圧巻のエンターテインメント！ 女優・中谷美紀とタッグを組む「カーニバル（謝肉祭）」の世界初演や、『ジュラシック・パーク』『ピンク・パンサー』『Viva La Vida（コールドプレイ作曲）』など、さまざまな音楽を才気あふれる新解釈で演奏します。美学と伝統で形づくられた一流のクラシック奏者たちが解き放つ、エキサイティングでスマートな音楽に酔いしれてください。



朗読：中谷美紀



©MaxParovsky

■会場／フェニーチェ堺 大ホール　■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定　S¥7,000　A¥6,000　B¥4,500
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥　■Pコード／245-485　■Lコード／54707
※未就学児入場不可

東京混声合唱団 フェニーチェ堺特別公演

10/8 SUNDAY

チケット発売中

◎指揮／大井剛史 ◎ピアノ／鈴木慎崇 ◎曲目／オルフ：『おお運命の女神よ』『カルミナ・ブラーナ』より」、モーツァルト：『アヴェ・ヴェルム・コルプス』、小林秀雄：『落葉松』、平尾昌晃：『瀬戸の花嫁』、アンジェラ・アキ：『手紙』 ほか

日本の合唱、ここに極まる一。日本の合唱を牽引するプロフェッショナル合唱団「東京混声合唱団」が堺へ。誰もが愛する唱歌・歌謡曲・合唱の定番曲でつづる珠玉の特別公演です。第2部では作曲家・信長貴富から直接指導を受けた地元堺の合唱団が共演し、あの名曲を披露。



©田村孝子

■会場／フェニーチェ堺 大ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 ¥3,500　■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／242-966　■Lコード／56920
※未就学児入場不可

川口成彦フォルテピアノリサイタルシリーズ2023 ～Colorful～ featuring Bach and Chopin

10/28 SATURDAY ～12/16 SATURDAY

第2回「カラフルな変奏曲の世界」第3回「歌曲で辿るショパンへの旅路」

チケット発売中

◎ピアノ／川口成彦 ◎ソプラノ／アルドナ・バルソニク（第3回のみ）

第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位の川口成彦が、「カラフル」をテーマに、毎回変わる個性豊かなフォルテピアノで繰り広げるリサイタルシリーズ。
〈第2回「カラフルな変奏曲の世界」〉作曲家のアイデアとイマジネーションの宝庫である変奏曲の魅力を。ショパン：「ドン・ジョヴァンニ」の「お手をどうぞ」の主題による12の変奏曲、バッハ：イタリア風アリアと変奏 ほか《使用楽器》J.B.シュトライヒャー（1861年、フォルテピアノ ヤマモトコレクション）
〈第3回「歌曲で辿るショパンへの旅路」〉ショパンの故郷ポーランド出身のソプラノ歌手アルドナ・バルソニクをゲストに迎え、川口成彦がショパン存命時のプレイエルを演奏するオール・ショパン・プログラム！《使用楽器》プレイエル（1843年、タカギクラヴィア）

◎10/28（土）第2回「カラフルな変奏曲の世界」
◎12/16（土）第3回「歌曲で辿るショパンへの旅路」



©Shin Matsumoto

■会場／フェニーチェ堺 小ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 ¥4,000　■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／［第2回］238-316　［第3回］238-317　※未就学児入場不可

ワカテ de ワカル フェニーチェ文楽 vol.4

9/28 THURSDAY

チケット発売中

◎太夫／豊竹靖太夫 ◎三味線／鶴澤寛太郎 ◎人形遣い／吉田簑紫郎 ◎演目／人形浄瑠璃文楽『傾城恋飛脚』新口村の段

桐竹勘十郎（人間国宝）の発意・監修のもと、次代を担う若手が名作に挑戦。今回は『傾城恋飛脚』新口村の段を上演します。その他、文楽の魅力のひとつである大道具の解説コーナーや、豊竹靖太夫×鶴澤寛太郎×吉田簑紫郎による次世代鼎談も。



■会場／フェニーチェ堺 小ホール　■開演／11:00、15:00
■料金（税込）／全席指定 ¥3,000　■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／519-404　■Lコード／56981
※未就学児入場不可

鳳凰亭落語シリーズ 桂米團治 独演会

11/13 MONDAY

チケット発売中

◎出演／桂米團治、桂佐ん吉、桂慶治朗

「品」と「色気」の米團治、いざ参らん！ フェニーチェ堺だけの特別企画「名作落語聞き比べ」では、桂米朝ゆかりの大ネタ「たちぎれ線香」を、一門の桂米團治と桂吉弥が月替わりで披露します。語り手の違いによる味わいの変化をお楽しみください。



■会場／フェニーチェ堺 小ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 ¥4,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／520-810　■Lコード／53124
※未就学児入場不可

鳳凰亭落語シリーズ 桂吉弥 独演会

12/13 WEDNESDAY

チケット発売中

◎出演／桂吉弥、桂吉の丞、桂弥っこ

その実力に疑いなし、上方落語に吉弥あり！ 桂米朝ゆかりの落語を一門の米團治と吉弥が月替わりで披露する特別企画「名作落語聞き比べ」、いよいよ大ネタ「たちぎれ線香」が登場。誰がしゃべるかでガラリと変わる、名作の妙味を味わってください。



■会場／フェニーチェ堺 小ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 ¥4,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／520-811　■Lコード／53129
※未就学児入場不可

チケット取扱い　①堺市文化振興財団チケットセンター ☎0570-08-0089　②フェニーチェ堺公式HP https://www.fenice-sacay.jp/　③フェニーチェ堺総合窓口（9:00～20:00 第1・3月曜日休館）堺市堺区翁橋町2-1-1
④チケットぴあ https://t.pia.jp　⑤ローソンチケット https://l-tike.com　⑥イープラス https://eplus.jp

シルク・ドゥ・ソレイユ

「ダイハツ アレグリア-新たなる光-」大阪公演事務局 TEL.0570-200-889 《お問合せ》 https://www.KTV.jp/alegria 《チケット購入OK》

7/14 FRIDAY ～10/15 SUNDAY 『ダイハツ アレグリア－新たなる光－』大阪公演

チケット発売中

この夏必見！ 進化を遂げて生まれ変わった 不朽の名作が森ノ宮に!!

1994年に誕生した「アレグリア」は、世界で1400万人以上を動員したシルク史上最も愛された伝説のショーです。2013年に一度幕を閉じるも、その25周年を記念して、2019年にステージセットや衣装も一新された「アレグリア-新たな光-」としてふたたび開幕されました。パワーアップした不朽の名作が今、大阪・森ノ宮で絶賛上演中!新たなる伝説をぜひ会場で体感してください!

◎力強く進化を遂げたアクロバット

さらに更なる進化を遂げたアクロバットは、シルク・ドゥ・ソレイユの真骨頂。大きなトランポリンの上で縦横無尽にバク転、バク宙が繰り広げられ、空中では難度の高い技としなやかさで展開される美しい愛の物語が展開されます。

◎新たにデザインされた衣装とセット

古ぼけた傷跡や風合いを再現するため、生地にデジタルプリントを施すなどリアルで洗練されたデザインにするなど過去の「アレグリア」からは一新された衣装になりました。ストーリーを象徴する、シンボリックでインパクトのあるセットも注目です。

◎会場内に響くアイコニックなサウンド

「アレグリア」の音楽は、世界中でも高く評価され、約50万枚を超えるセールスを記録しました。かつての壮大さをそのままに、新たに現代の解釈が取り入れられ、エレクトロニックサウンドやロックの要素も加わり、全く新しいアレンジが採用されています。









Photos: Cirque du Soleil 2021 / Costumes: Dominique Lemieux

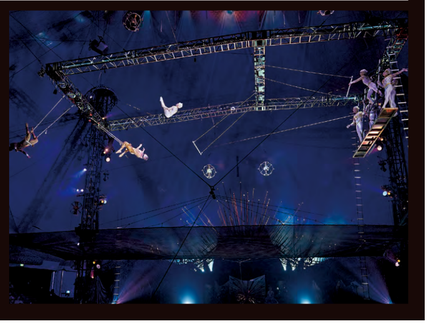
Photos:Cirque du Soleil 2021 / Costumes: Dominique Lemieux

■会場／森ノ宮ビッグトップ ■開演／公式ホームページでご確認ください
■料金（税込）／［平日公演］大人S¥12,800 大人A¥10,000 大人B・車イス席¥6,800 こどもS¥8,800 こどもA¥6,500 こどもB・車イス席¥4,800
オリジナル特典付チケットS¥21,000
［土日祝公演］大人S¥13,800 大人A¥11,000 大人B・車イス席¥7,800 こどもS¥9,800 こどもA¥7,500 こどもB・車イス席¥5,800
オリジナル特典付チケットS¥22,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦
■Pコード／649-054［追加公演分（10月12日～15日）649-055］ ■Lコード／50855［追加公演分（10月12日～15日）50856］
※子供券は3歳から小学生までとなります。3歳未満のお子様でも座席が必要な場合は子供券をお買い求めください
※車イスをご利用のお客様は、車イス（バリアフリーエリアでのご観覧希望のお客様）受付専用ダイヤルTEL.017-718-8161（オペレーター対応10:00～18:00）のみにて承ります。車イスでご来場のお客様は事前にご連絡ください
※開場は開演の1時間前ですが、座席がある客席内へは30分前に入場可能となります ※演出上、演目によっては一瞬照明が眩しく感じる座席がございます
※パフォーマンスの都合上、会場内の温度は低めに設定しております。羽織ものを持参されることをお薦めします
※演出機材により、舞台の一部が見づらい席がございます ※都合により公演の内容を一部変更する場合がございます
◎主催／関西テレビ放送、産経新聞社、フジテレビジョン、キョードー大阪、テレビ新広島、TSKさんいん中央テレビ、岡山放送、テレビ愛媛、高知さんさんテレビ
◎企画制作／フジテレビジョン、シルク・ドゥ・ソレイユ ◎特別協賛／ダイハツ工業

チケット取扱い ①フジテレビダイレクト https://fujitvdirect.jp/alegria/ ②チケットぴあ ☎017-718-8161（オペレーター対応10:00～18:00） https://w.pia.jp/t/alegria/ ③ローソンチケット https://l-tike.com/event/alegria/ ④イープラス https://eplus.jp/alegria/ ⑤楽天チケット https://r-t.jp/alegria/ ⑥セブンチケット https://7ticket.jp/sp/alegria/ ⑦CNプレイガイド ☎0570-08-9999（オペレーター対応10:00～18:00） https://www.cnplayguide.com/alegria

MEG Special Report 森ノ宮ビッグトップに名作『アレグリア』降臨!!

大阪・森ノ宮ビッグトップで上演中のシルク・ドゥ・ソレイユ「ダイハツ アレグリア-新たなる光-」。世界中を魅了してきた、この人気の高い公演をレポートしよう。今作では、「回復力」と「人間性」をテーマにステージセットや衣装、メイクなどを一新。1995年にグラミー賞にノミネートされたサウンドトラックも新しいアレンジが採用され、想像力や高揚感を高める音楽へと進化した。物語の舞台は王を失くし、かつての輝きを失った王国。王に仕えていた道化師ミスター・フルールが不器用ながらにも王位を継承したかのように振る舞うなか、力のバランスを変えようと若者たちが街の中から立ち上がり、やがて彼らの国に光と調和をもたらすというストーリーだ。ミスター・フルール、貴族、王国の外から新しい風をもたらすブロンクス、2人のクラウンなど、様々なキャラクターが登場し、超人技などを展開しながら物語を紡いでいく。権力を誇示するかのように、棒高跳びで使用するバーの上で高さのあるバランス技を披露する「アクロ・ボール」や、ブロンクス達がリングを巧みに駆使して、躍動感ある動きで新たな時代の胎動を表す「シル・ホイール」など、開演直後から驚きのパフォーマンスが次々と飛び出してくる。ブロンクスが燃え盛る炎を巧みに操り、再生の光をもたらす「ファイヤーナイフ・ダンス」では、高鳴る鼓動のようなドラムの音に自然とテンションが上がっていく。漫才のような掛け合いで沸かせるふたりのクラウンも、物語を盛り上げる。彼らが巻き起こす「クラウン・スノーストーム」は体感型の演目、その迫力をぜひ感じてほしい。また、この演目から雪が降り積もる。ステージの上も真っ白だ。この雪はどうするのだろう…という思いを抱くに違いない。この疑問解決も『アレグリア』の見どころのひとつ、お楽しみに。「エアリアル・ストラップ」は男女デュオがスリリングながらもロマンチックなパフォーマンスを披露。実生活でも夫婦というふたり、その揺るぎない信頼関係も見どころだ。その後も、高速でダイナミックなトランポリンパフォーマンスに息を飲む「パワートラック」や、ふたりのニンフが繰り広げるバランス技「ハンド・トゥ・ハンド」など、アーティストたちのたぐいまれなる身体能力も堪能できる演目が目白押し。ラストは最大の見せ場である空中ブランコ「フライング・トラピス」だ。ステージ上10mの高さにセットされたブランコを使ってフライヤーたちが宙を舞い、膝だけ固定されたキャッチャーが腕で彼らを力強く受け止める。演技中はアーティストたちの「ハッ!」という掛け声が会場に響き渡り、その緊張感と臨場感もたまらない。物語の世界観にさらなる奥行きをもたらすふたりのシンガーの歌声やバンドの生演奏も聴きごたえがあり、音楽も高い評価を得ていることを実感するだろう。大阪公演は10月15日（日）まで上演。この機会をお見逃しなく。



◎Text／岩本和子

兵庫県立芸術文化センター

TEL.0798-68-0255 《チケット購入・お問合せ》 https://www.gcenter-hyogo.jp 《チケット購入OK》

9/15 FRIDAY ～17 SUNDAY SHINE SHOW!

チケット発売中

◎作／冨坂 友 ◎演出／山田和也
◎出演／朝夏まなと、小越勇輝、花乃まりあ、木内健人、石坂 勇、増本 尚、柳 美稀、栗原沙也加、西村直人、久ヶ沢 徹/中川晃教 ほか

舞台は、とある複合オフィスビル内の会社の社員が歌唱力を競う夏のカラオケ大会。様々な想いを抱える出場者と、その舞台裏で数々のトラブルに見舞われながらもショーマストゴーオンの精神で乗り切ろうとする運営スタッフの物語。人生を少しだけ変える勇気と、明日への活力をもらえること間違いなし! 誰もが耳にしたことのある数々のナンバーが舞台を彩ります!



■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
■開演／9月15日(金)14:00
9月16日(土)12:00、17:00
9月17日(日)12:00
■料金（税込）／全席指定 ¥11,000
■チケット取扱い／下記①②③④
※未就学児入場不可

10/1 SUNDAY プロムナード・コンサート 三浦謙司 ピアノ・リサイタル 「天と地」

チケット発売中

◎曲目／ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第14番「月光」、ドビュッシー:ベルガマスク組曲 第3曲「月の光」、バルトーク:ルーマニア民俗舞曲 ほか

神戸出身、ベルリン在住。今ぜったいに聴いてほしいピアニスト。2019年にロン・ティボー・クレスパン国際コンクールで優勝後、国際的に評価を高めるストイックなピアニストが考え抜いたプログラム。この音に、芸術性に、プログラムの中のストーリーに、あなたも人生を揺さぶられるに違いありません。


©Harald Hoffmann

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 A¥3,000 B¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

10/7 SATURDAY 古楽の愉しみ 鈴木優人 &BCJ（バッハ・コレギウム・ジャパン） の歌劇「ジュリオ・チェーザレ」

チケット発売中

◎指揮・鈴木優人 ◎演出／佐藤美晴 ◎出演／テイムニド、森 麻季、アレクサンダー・チャンス、大西宇宙、藤木大地、マリアンネ・ベアー、キーラント、加藤宏隆、松井亜希


©Marco Borggreve


©Yuji Hori


©Andy Staples

「バロック・オペラ・エボリューション2023」と題し、鈴木優人がヘンデルの最高傑作を指揮! ローマの英雄ジュリアス・シーザーがエジプトを舞台に美貌の女王クレオパトラと繰り広げるドラマティックなオペラを、至高の歌手、アンサンブルと共にセミ・ステージ形式（字幕付）でお贈りします。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 A¥9,000 B¥7,000 C¥5,000
D¥3,000 E¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

10/15 SUNDAY アレクサンドル・タロー（ピアノ）が描く『エリック・サティの世界』

チケット発売中

◎ピアノ構成／アレクサンドル・タロー ◎テノール／ジャン・ドゥルスクルーズ ◎語り／鬼倉龍大 ◎曲目／サティ:ジムノペディ 第1番、3つのメロディ ほか予定

自国フランスやヨーロッパ各国で上演してきた「エリック・サティの世界」を日本初披露。サティの音楽と文学を組み合わせた舞台作品です。音楽はタローのピアノとフランス人テノール歌手による歌で、本場フランスのエスプリをお届け。サティ自らが著したことばは、俳優・鬼倉龍大が日本語で語ります。


©Marco Borggreve

■会場／兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 A¥5,000 B¥4,000
■チケット取扱い／下記① ※未就学児入場不可

10/21 SATURDAY レイフ・オヴェ・アンスネス ピアノ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第8番「悲愴」、ドヴォルザーク:詩的な音画より（抜粋）、ブラームス:7つの幻想曲 ほか

北欧ノルウェーが生んだスーパースター・アンスネス。ベルリン・フィル等、名だたる一流オーケストラと共演を重ねてきたほか、数々のプロジェクトにおいて世界的に評価される才人が今回、光をあてたのはドヴォルザークの「詩的な音画」。知られざる名曲をアンスネスの美音で聴くまたとない機会です。


©Jiyang Chen

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 D¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

10/22 SUNDAY 世界音楽図鑑／ステップコンサート 小松亮太 昭和タンゴ・プレイバック ～碧空

チケット発売中

◎出演／小松亮太 ほか11名編成のタンゴバンド、Nana&Axel ◎出演／ラ・クンパルシータ、碧空、エル・チョクロ、ラスト・タンゴ・イン・パリ、リベルタンゴ ほか

バンドネオンの第一人者・小松亮太が贈るアルゼンチン・タンゴ、そしてアルゼンチンからヨーロッパへ渡り広がったコンチネンタル・タンゴ。信頼する仲間とともに昭和の時代から愛されてきたタンゴの名曲をお届けします。世界チャンピオンによる魅惑のダンスも交えた華麗なステージをお楽しみください!



■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 D¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

10/29 SUNDAY 古楽の愉しみ ジャン・ロンドー チェンバロ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／モーツァルト:ピアノのためのソナタ ハ長調 K.545、幻想曲 ニ短調 K.397、ベートーヴェン:前奏曲 第2番 作品39/2 ほか

21歳でブルージュ国際古楽コンクール・チェンバロ部門に優勝、今では欧州の音楽界でその動向が注目される才人ロンドー。今回は「バルナッソス山への階梯」と題し、鍵盤楽器の音楽の歴史を紐解くユニークなプログラム。「チェンバロってこんなに面白いの?!」と衝撃を受けること間違いなしです!


©Hiroharu Takeda
Sapporo Concert Hall

■会場／兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院 小ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 A¥5,000 B¥4,000
■チケット取扱い／下記① ※未就学児入場不可

11/7 TUESDAY 内田光子（ピアノ・指揮） with マーラー・チェンバー・オーケストラ

チケット発売中

◎曲目／モーツァルト:ピアノ協奏曲 第17番、第22番、ヴィトマン:コラール四重奏曲（室内オーケストラのための）

英国での勲章も授けられるなど、アーティストとして世界的に尊敬を集める内田光子。一生に一度は必ず聴くべき、日本が誇るピアニストです。特にモーツァルトの演奏において名高く、今回は2曲の協奏曲を弾き振り。マーラー・チェンバー・オーケストラとの演奏は深く胸に刻まれる、心の財産となることでしょう。


©Justin Pumfrey

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 A¥18,000 B¥15,000 C¥12,000
D¥9,000 E¥5,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

11/25 SATURDAY 古楽の愉しみ 濱田芳通 & アントネッロの「メサイア」

チケット発売中

◎指揮／濱田芳通 ◎独唱・合唱／中川詩歩、中山美紀（ソプラノ）、中嶋俊晴、彌勒忠史（カウンターテナー）、中嶋克彦（テノール） ほか





初演の際「ハレルヤ・コーラス」に感動した国王ジョージ2世が、思わず立ち上がって拍手を送ったエピソードが有名なヘンデルの「メサイア」。今回登場するのは、周到な作品研究と完璧な技術に裏打ちされ、斬新でグルーヴ感に溢れたアプローチによって古楽界に衝撃を与えたアントネッロの演奏。作品のスピリットを字幕付でビビッドに体感いただけます。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 D¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

10/27 FRIDAY ～29 SUNDAY 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第145回定期演奏会 「カーチュン・ウォン×小曽根真 ショスタコーヴィチ&マーラー」

チケット発売中

◎指揮／カーチュン・ウォン ◎ピアノ／小曽根 真 ◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目／ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲 第1番 ほか


©Angie Kremer


©Kazuyoshi Shimomura

前半は神戸出身のジャズピアニスト、小曽根真が登場。ショスタコーヴィチの「ピアノ協奏曲 第1番」を演奏します。後半はマーラーの「交響曲 第5番」。飛ぶ鳥を落とす勢いで活躍するカーチュン・ウォンの重要なレパートリーの一つ、どうぞお聴き逃しなく!

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 D¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

11/17 FRIDAY ～19 SUNDAY 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第146回定期演奏会 「ボナート×メイエ 極上のフランス音楽」

チケット発売中

◎指揮／アレッサンドロ・ボナート ◎クラリネット／ポール・メイエ ◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目／ラヴェル:ボレロ ほか




©Shin Yamagishi

イタリア出身の俊英、アレッサンドロ・ボナートがPAC定期初登場。前半にはクラリネットの名手ポール・メイエを迎え、ドビュッシー「クラリネットのための第1狂詩曲」他、後半はビゼー「アルルの女」組曲 第1番・第2番にラヴェル「ボレロ」と名曲が続きます!

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 D¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

チケット取扱い ①兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス ☎0798-68-0255（10:00～17:00 月曜休 ※祝日の場合翌日） https://www.gcenter-hyogo.jp
②チケットぴあ https://t.pia.jp ③ローソンチケット https://l-tike.com ④イープラス https://eplus.jp

山内惠介 コンサートツアー2023 ～歌うこころは万華鏡～
10.23［月］
開演15:00（開場14:00）
フェスティバルホール
一般 ¥7,800
バルコニーBOX席 ¥7,800
［全席指定・税込］※未就学児入場不可
PLAY GUIDE
◆フェスティバルホール チケットセンター https://www.festivalhall.jp
◆チケットぴあ https://t.pia.jp ［Pコード：246-209］
◆ローソンチケット https://l-tike.com ［Lコード：54583］
◆イープラス https://eplus.jp/
お問合せ ページ・ワン ☎06-6362-8122（火・水11:00～16:00）


東大阪市文化創造館

TEL.06-4307-5772 《お問合せ　https://higashiosaka.hall-info.jp/ 《チケット購入OK

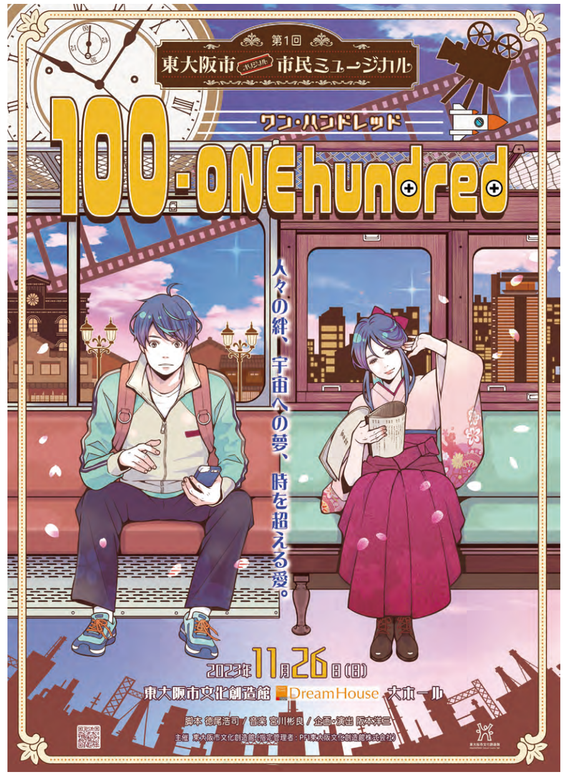
11/26 SUNDAY 第1回東大阪市オリジナル市民ミュージカル『100－ONE hundred』

チケット発売中

◎脚本／徳尾浩司 ◎音楽／宮川彬良 ◎企画・演出／阪本洋三 ◎出演／東大阪市民ミュージカル出演者 ほか



◎制作陣3名と東大阪市民ミュージカル出演者（一部）／制作発表にて



脚本 徳尾浩司、音楽 宮川彬良による、完全オリジナルの市民ミュージカル誕生！

映画監督になりたくて東京に出ていた東城充（ミツル）は、父が「倒れた」という知らせを聞いて夢を半ば諦め、東大阪に戻って来た。充の父・兼彦（カネヒコ）は100年続く町工場を継いで欲しい、と思っているが、充とコミュニケーションをうまく取れないでいる。ある日、充は何かに導かれるまま、生駒トンネルに出現した電車に乗り込み、100年前にタイムスリップする。そこはかつて東大阪に存在した「東洋のハリウッド」と呼ばれる映画撮影所だった。そこで充は看板女優の高宮麗（レイ）や、実家の町工場創業者である曽祖父、東城彦一（ヒコイチ）に出会う……。

東大阪の名所・旧跡を舞台に、人々の絆、それぞれの夢、そして愛の物語が、時空を超えて壮大なスケールで展開する、オリジナル・ミュージカル・ファンタジー。

■会場／東大阪市文化創造館 Dream House 大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　S¥3,500　A¥2,500　高校生以下¥1,000
［スクラムメイト会員］S¥3,000　A¥2,000　高校生以下¥800
［車椅子・介助者席］¥2,000　高校生以下¥500
■チケット取扱い／下記①②③
※未就学児入場不可 ※都合により内容が変更になる場合がございます
※車椅子席・介助者席をご希望の方は①②までお問い合わせください
※引き取り方法として電子チケット（③のみ）もご利用頂けます
◎後援／FM大阪

10/6 FRIDAY カルチャースクエアNo.14「館長によるクラシック音楽講座『作曲家の肖像』」特別演奏会『神童』モーツァルトと『楽聖』ベートーヴェン、天才二人のピアノ音楽

チケット発売中

◎ピアノ／久元祐子 ◎曲目／モーツァルト:ピアノ・ソナタ ハ長調　KV545、トルコ行進曲、ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 作品13「悲愴」、エリーゼのために ほか



©武藤章

ピアニストの久元祐子さんによる特別演奏会「『神童』モーツァルトと『楽聖』ベートーヴェン、天才二人のピアノ音楽」を開催します。クラシック音楽に興味のある方、ぜひお越しください。

■会場／東大阪市文化創造館 ジャトーハーモニー 小ホール
■開演／18:30　■料金（税込）／全席指定 ¥2,000　■チケット取扱い／下記①②③
※未就学児入場不可 ※都合により曲目など、内容が変更になる場合がございます
※車椅子席・介助者席をご希望の方は①②までお問い合わせください ※引き取り方法として電子チケット（③のみ）もご利用頂けます

10/14 SATURDAY ひがしおおさか狂言会

チケット発売中

◎出演／茂山七五三、茂山千五郎、茂山宗彦、茂山茂、茂山逸平、茂山千之丞、網谷正美、丸石やすし、井口竜也、鈴木実、山下守之 ◎演目／『萩大名』『鎌腹』『六地蔵』



©桂 秀也

「お豆腐狂言」で人気の茂山千五郎家による狂言会を、昨年に引き続き今年も開催します。ユーモアに富んだ喜劇・狂言を前説付きで上演するので、狂言を初めて観る方でも心から楽しんでいただけます。今年は、田舎大名が都びとの真似をして失敗する「萩大名」、犬も食わぬ夫婦喧嘩の顛末をえがいた「鎌腹」、スッパたちが舞台を走りまわる「六地蔵」をお送りいたします。文化創造館で楽しむ、狂言の「和らい」にご期待ください。

■会場／東大阪市文化創造館 Dream House 大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 ¥2,000　車椅子席・介護者席¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③　※未就学児入場不可
※1階席先行販売 ※都合により演目・出演者等が変更になる場合がございます
※車椅子席・介助者席をご希望の方は①②までお問い合わせください
※引き取り方法として電子チケット（③のみ）もご利用頂けます
◎後援／FM大阪

チケット取扱い ①東大阪市文化創造館チケットセンター（電話予約）☎0570-08-1515（10:00～18:00 第2火曜日休業）　②東大阪市文化創造館チケットセンター窓口（10:00～19:00 第2火曜日休館
③東大阪市文化創造館オンラインチケット https://higashiosaka.hall-info.jp/（2:00～5:00はシステムメンテナンスの為お申込できません）

MEGに広告を出してみませんか?

大阪市内や北摂地区の朝日新聞朝刊への折り込み、主要ホール、ミニシアター、飲食店舗など15万部を無料配布しています。エンターテインメントに関心のある全世代がターゲットです。

MEG関西版編集部までお問い合わせください
info@meg-net.com



¥69,000より ご出稿頂けます!

PR冊子　PR動画　取材執筆

私たちは編集制作企業です

企業社史　WEB制作　企画提案

多くの企業、出版社との仕事をメインとした制作会社です。
MEGクォリティーで各コンテンツの企画から制作まで承っております。
お見積は無料! お気軽にお問い合わせください。

クエストルーム株式会社［企画担当］ sugioka@qurstroom.co.jp

大和高田さざんかホール

TEL.0745-53-8200 《チケット購入・お問合せ　http://www.city.yamatotakada.nara.jp/sazankahall

9/17 SUNDAY 須川展也 SAXフェスティバル vol.3

チケット発売中

◎出演／須川展也（サクソフォン）、田中靖人（サクソフォン）、小柳美奈子（ピアノ）



©amigraphy





©Toru Hasumi-3

大和高田さざんかホールでの恒例企画となった、世界的SAX奏者の須川展也がプロデュースするコンサート。毎回クリニック受講生との共演でも盛り上がり、回を重ねるごとに参加者が増え、今年もプログラムの前半は70名のクリニック受講生と共演します!コンサート後半は、須川展也と田中靖人が二人とも4本のサクソフォンを駆使して、ピアノの小柳美奈子と息の合ったステージをお届けする、大和高田さざんかホールでしか聞けない、必聴、必見のプログラムをお楽しみください!

■曲目／N.ロータ（加藤昌則編曲）:道、S.ラフマニノフ（石川亮太編曲）:ラフマニノフのアダージョ、D.ミヨー:スカラムーシュより 第3楽章、L.バーンスタイン（J.バルマン編曲）:マリア～ウエストサイド物語より～、V.モンティー:チャルダッシュ、J.M.ルクレール:ソナタ ハ長調（演奏調は変ホ長調）、長生淳:トリリトン、O.レスピーギ（菅原克宏編曲）:～リュートのための古風なアリアと舞曲 第3組曲より～シシリアーナとパッサカリア、星出尚志作曲:ブラボー・サックス、和泉宏隆（本堂誠編曲）:オーメンズ・オブ・ラブ

■会場／大和高田さざんかホール 大ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥1,500 学生¥500（当日各500円増）
■チケット取扱い／下記①⑤　■Lコード／56985
※未就学児入場不可 ※無料託児保育あり［申込締切:9月8日（金）］

茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）

TEL.072-625-3055 《お問合せ　https://www.ibabun.jp 《チケット購入OK

10/13 FRIDAY ～15 SUNDAY エブリ・ブリリアント・シング ～ありとあらゆるステキなこと～

チケット発売中

◎作／ダンカン・マクミラン、ジョニー・ドナヒュー
◎翻訳・演出／上田一豪 ◎出演／佐藤隆太



撮影:中村彰男

世界中をあたたかい感動に包み込んだ一人芝居
佐藤隆太が再び物語を紡ぎ出します。

観客との距離が近いトークライブのような、ユニークな上演スタイルで2020年に高評価を得た一人芝居が、再び茨木に登場します。佐藤隆太の確かな演技力で、生きづらさを抱える人達への温かいメッセージを響かせます。

「この世界のありとあらゆるステキなもの」
「人生はきっと良くなる」
ちょっと切なくて、でも明日を信じて生きていこうと勇気をくれる、心あたたまるひと時をお届けします。

物語は、語り手が7歳の頃の記憶を語るところから始まります。入院した母親を何とか元気づけようと、子どもの目線で思いつく限りの「ありとあらゆるステキなこと」をノートに書き連ねてゆきます。「ステキなこと」リストはどんどん増えてゆき…。

■会場／茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール 舞台上特設劇場
■開演／10月13日（金）19:00［佐藤隆太によるアフタートークあり］ 10月14日（土）・15日（日）14:00
■料金（税込）／全席自由（整理番号付き） 一般¥5,000　65歳以上、障害者及びその介助者¥4,500　青少年（24歳以下）¥2,000 ※当日券は500円増し
■チケット取扱い／下記②④⑤　■Pコード／529-342　■Lコード／51790　※未就学児入場不可

9/28 THURSDAY 第17回 茨木ハチマル落語会「林家花丸のいろとりどり寄席」

チケット発売中

◎出演／林家花丸、林家染八、桂丸ノー



本格的な生の落語を、気軽に約80分でお楽しみいただく

はんなりはなやかな語り口が魅力の林家花丸と、花丸が選ぶ精鋭メンバーによる「いろとりどり」な落語会。
午後のひととき、笑ってすっきり。多彩な話芸を楽しめる80分です。

■会場／茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 ¥1,500
■チケット取扱い／下記②⑥
※未就学児入場不可





神戸ジャズ100周年記念事業

https://kobe-jazz100th.jp/

9/11 MONDAY ～17 SUNDAY ハーバージャズナイト

観覧無料



神戸の海辺でジャズを満喫! 今年は神戸で日本初のプロのジャズバンドが演奏してから100周年です。それを記念して、神戸ハーバーランド・高浜岸壁という、神戸を象徴するようなロケーションで夏の夜に1週間毎日開催されるハーバージャズナイト。さまざまなジャンルのステージパフォーマンスとともに、神戸ならではの飲食店を集めた食ブースも登場します。

■出演／Miki Hirose&Burritos、田中ヒロシカルテット feat. 西村有香里、白瀬晴花カルテット、MITCH All Stars、Lit Line Swingers、河村秀樹 Chord less Quartet、米田あゆカルテット、高橋知道&SJF Reunion Band、SWING JAZZ CRUISEに出演する大学生バンド、KJPR Electric Band

9/29 FRIDAY［公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3］参加事業 ～神戸ジャズ100周年記念事業～ KOBE JAZZ100 Concert Vol.1

チケット発売中

◎出演／甲南高等学校ブラスアンサンブル部・内海英華 with 粋（スイ）～てすとうろど・黒田卓也クインテット（黒田卓也）



神戸オリエンタルホテルで日本最初のプロのジャズ・バンドによる演奏が行われてから今年で100年。この節目の年に、神戸では様々な取り組みを通して、街全体でジャズを盛り上げています。「KOBE JAZZ 100 Concert」もその1つ。第1回目は、「神戸ジャズとは」をテーマに、神戸発、今や世界の黒田卓也さん他をゲストに迎え、中高生バンドやお囃子ジャズなど、多彩で個性豊かな、これぞジャズの街「神戸ジャズ」の世界をたっぷりと魅せます。

■会場／神戸文化ホール 中ホール　■開演／18:30
■料金（税込）／一般¥2,500（当日¥3,000）
U25（25歳以下）¥1,500（前売・当日共通）
■チケット取扱い／下記③　※3歳以上入場可
※保護者1名につき1名膝上鑑賞無料 ※座席が必要な場合は有料

10/22 SUNDAY Kobe Jazz Centennial 神戸ジャズセンテニアル

観覧無料

◎出演／黒田卓也、吉本章紘、中村海斗、Kobe Centennial Jazz Orchestra ほか

神戸のジャズ100周年を契機に、神戸のまちなかを舞台にした新しいジャズフェスティバル「Kobe Jazz Centennial」（神戸ジャズセンテニアル）を10月に初開催します。"Centennial"（センテニアル）とは、「100周年祭」という意味の英語。ジャズ100周年を機に立ち上げ、「次の100年につなげる」という思いを込めています。初開催の今年は、リニューアルオープンした東遊園地や大丸神戸店東側（明石町筋）など、三宮・旧居留地界隈の「神戸」らしさを感じさせるスポットにステージを設置。この日は一日中各所で多彩なジャズの演奏を楽しめます。また、東遊園地のメインステージには黒田卓也（trumpet）や吉本章紘（sax）、中村海斗（drums）といった国内外ジャズシーンの"今"と"これから"をリードするアーティストを招聘。トップクラスのパフォーマンスを芝生広場でゆったりと楽しめます。10月22日は、ジャズであふれる神戸のまちなかへ。
https://www.kobejazzcentennial.com/

■会場／神戸三宮・旧居留地周辺
（東遊園地芝生広場、SMBC前広場、明石町筋（大丸神戸店横）
朝日ビル1Fピロティ、国際会館サンクンガーデン など）
■時間／10:00～17:40　■料金／無料

11/15 WEDNESDAY［公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3］参加事業 ～神戸ジャズ100周年記念事業～ KOBE JAZZ100 Concert Vol.2

9月中旬チケット発売予定

◎出演／小川理子トリオ、Birth of KOOL、KOBE HARD BOP BOYS feat. 岡崎好朗、"sonho"KOBE especial



第2回目は、神戸ジャズ100周年事業にふさわしく、ジャズの変遷の歴史をたどる音楽の旅に誘います。ジャズの起源ともいわれる「ラグタイム」をはじめ、マイルスディビスが生みだしたクールジャズ、さらにはハードバップ、ブラジリアンまで、第一線で活躍しているプロのミュージシャンの卓越した演奏により、多彩な変化を遂げたジャズを体感していただきます。影響を受けたアーティストや、普段は聞けないような裏話などミュージシャンならではのトークも交えながら、魅力あふれる内容でお届けします。

■会場／神戸文化ホール 中ホール　■開演／18:30（予定）
■料金（税込）／一般¥2,500（当日¥3,000）
U25（25歳以下）¥1,500（前売・当日共通）
■チケット取扱い／下記③　※3歳以上入場可
※保護者1名につき1名膝上鑑賞無料 ※座席が必要な場合は有料

チケット取扱い ①大和高田さざんかホール ☎0745-53-8200　②茨木市文化振興財団 ☎072-625-3055 https://www.ibabun.jp/
③神戸文化ホール ☎078-351-3349（10:00～17:00月曜休 ※祝日の場合翌平日） https://www.kobe-bunka.jp/hall/　④チケットぴあ https://t.pia.jp　⑤ローソンチケット http://l-tike.com　⑥イープラス https://eplus.jp

サンケイホールブリーゼ

TEL.06-6341-8888 《チケット購入・お問合せ》 https://www.sankeihallbreeze.com 《チケット購入OK》

10/15 SUNDAY サンケイホールブリーゼ米朝一門落語会シリーズ2023「桂塩鯛 独演会」

チケット発売中

2代目桂ざこば一門の筆頭弟子で、師匠譲りの迫力ある落語が人気の桂塩鯛が、独演会を今年も開催。人情味ある噺が得意で、今回は落語作家・三田純市が秋を舞台にした落語が少ないことに気づき、3代目桂米朝のために書き下ろした「まめだ」を披露。10月にぴったりの作品で季節を感じていただけます。他に古典落語「代脈」、「どうらんの幸助」も。昨年噺家生活45周年を迎え、ますます円熟味を増した話芸をぜひ劇場で。



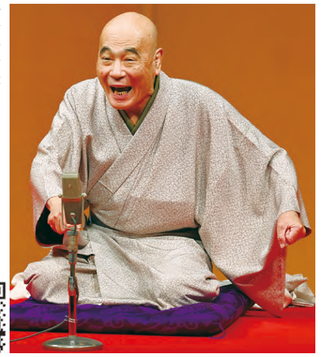
■出演・演目／
桂弥壱「軽業」
桂塩鯛「代脈」
桂まん我「応挙の幽霊」
桂塩鯛「どうらんの幸助」
ー中入ー
桂塩鯛「まめだ」

■会場／サンケイホールブリーゼ
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SV4,500 AV4,200
■チケット取扱い／下記①④⑤⑥
■Pコード／520-622
■Lコード／55134
※未就学児入場不可

11/19 SUNDAY サンケイホールブリーゼ米朝一門落語会シリーズ2023「桂雀三郎 独演会」

8/27(日)～チケット発売

「ヨーデル食べ放題」で知られ、ライブやディナーショーも行う歌う落語家・桂雀三郎の毎年恒例の独演会。今回は、客に翻弄される人力車夫を描いた新作落語「帰り俥」、古典落語の大ネタで、野駆けの様子が華やかな「愛宕山」、同じく古典落語の名作で百人一首の和歌にちなんだ「崇徳院」の3席。古典から新作まで幅広く演じる師匠ならではの、臨場感あふれる熱演をたっぷりご堪能ください。



■出演・演目／
桂りょうば「桃太郎」
桂雀三郎「帰り俥」(小佐田定雄作)
桂雀喜「終活のススメ」(長坂盤太郎作)
桂雀三郎「愛宕山」
ー中入ー
桂雀三郎「崇徳院」

■会場／サンケイホールブリーゼ
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SV4,500 AV4,200
■チケット取扱い／下記①④⑤⑥
■Pコード／520-655
■Lコード／55135
※未就学児入場不可

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

TEL.077-523-7136 《チケット購入・お問合せ》 https://www.biwako-hall.or.jp/ 《チケット購入OK》

9/17 SUNDAY 開館25周年記念 オペラ ガラ・コンサート

チケット発売中

◎指揮／阪 哲朗 ◎出演／澤畑恵美、石橋栄実、藤木大地、宮里直樹、山本康寛、青山 貴 ほか ◎管弦楽／京都市交響楽団



びわ湖ホールは9月5日に開館25周年を迎えます。"ガラ"とはイタリア語で「祝祭」を意味し、記念すべき25周年を華やかなオペラの名曲で祝います。第3代芸術監督 阪哲朗が、活躍目覚ましい歌手たちとびわ湖ホール声楽アンサンブル、京都市交響楽団とともに奏でる祝祭コンサート。前半は、ヴェルディとワーグナーのオペラ作品から、後半は今年度上演する「ばらの騎士」や「こうもり」、「フィガロの結婚」などから名曲をお贈りします。

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SV7,700 SV6,050
AV4,950 BV3,850 CV3,300
青少年(24歳以下)S～CV2,200 シアターメイツS～CV1,100
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑦
■Pコード／239-352 ■Lコード／55108
※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは②のみ取扱い

9/30 SATURDAY 〈特別コンサート〉藤村実穂子 メゾソプラノ・リサイタル

チケット発売中

◎メゾソプラノ／藤村実穂子 ◎ピアノ／ヴォルフラム・リーガー ◎曲目／マーラー：さすらう若人の歌、ジェムリンスキー：メーテルリンクの詩による6つの歌 op.13 ほか

バイロイト音楽祭では、フリッカ、クンドリ、ブランゲーネ、ワルトラウテ、エルダなどを演じ、メゾソプラノの歌うワーグナーの主要役をすべて見事に歌い、世界各国で引く手あまたの大活躍をする藤村実穂子が、びわ湖ホールで初リサイタルを開催。モーツァルト「静けさは微笑み」「喜びの 鼓 動」をはじめ、マーラー、ジェムリンスキー、細川俊夫の歌曲の数々、ヴォルフラム・リーガーの繊密なピアノと共に世界最高峰のメゾソプラノをお楽しみください。



■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SV4,950 AV3,850 BV2,750
青少年(24歳以下)V1,650
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑦ ■Pコード／239-353
■Lコード／55194 ※6歳以上入場可

MANY DAYS オペラへの招待 モーツァルト作曲『フィガロの結婚』(全4幕／イタリア語上演・日本語字幕付)

チケット発売中

◎指揮・フォルテピアノ／阪 哲朗 ◎演出／松本重孝 ◎出演／森谷真理[10月8日(日)・14日(土)・16日(月)]、平野和[10月7日(土)・9日(月・祝)・15日(日)]、びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか ◎管弦楽／日本センチュリー交響楽団



〈オペラへの招待〉は、初めてのオペラを体験するのにうってつけのシリーズ。今回は、阪 哲朗の指揮、演出は名匠松本重孝、ソリストはびわ湖ホール声楽アンサンブルが務め、伯爵夫人に当代随一のソプラノと呼び声の高い森谷真理、フィガロ役にはウィーン・フォルクスオーパーで14年間にわたり専属歌手を務め、今年3月の『マイスタージンガー』夜警役で絶賛を博した平野 和を迎えます。『セビリアの理髪師』でめでたく結婚した伯爵と伯爵夫人。その数年後、伯爵の従者フィガロとスザンナの結婚式当日に巻き起こる大騒ぎの1日が描かれます。果たしてふたりは無事に結婚できるのでしょうか。

◎公演日／10月7日(土)・8日(日)・9日(月・祝)・14日(土)・15日(日)・16日(月)

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥5,500 青少年(24歳以下)¥2,200 シアターメイツ¥1,100
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥ ■Pコード／239-354 ■Lコード／55198
※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは②のみ取扱い

みつなかホール

TEL.072-740-1117 《チケット購入・お問合せ》 www.kawanishi-bunka-sports.com/bunka/

10/26 THURSDAY かわにし寄席 桂 米朝 一門会

チケット発売中

毎年恒例！川西市では長い歴史のある米朝一門による落語会です。



■出演
桂 弥壱
桂 ひろば
桂 南天
桂 米團治
〈中入〉
桂 八十八
桂 南光
※演目は当日のお楽しみ！

■会場／川西市みつなかホール ■開演／18:30
■料金(税込)／全席指定 一般¥3,000 割引(小・中・高生、障がいのある人)¥2,000
■チケット取扱い／下記③⑤⑦ ■Lコード／54047 ※未就学児入場不可

ページ・ワン

TEL.06-6362-8122 《お問合せ》 https://www.page-one.jp.org/

9/18 MONDAY HOLIDAY 柳亭小痴楽 全国ツアー カチコミ'23

チケット発売中

若手ながら本格的江戸落語を聞かせてくれて、歯切れの良い語り口と華のある芸風で人気急上昇中の若手真打が二年目となる全国ツアーを開催。



■会場／プリーゼプラザ小ホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 ¥3,500
■チケット取扱い／下記④⑤⑥
■Pコード／518-012
■Lコード／54334
※未就学児入場不可

10/22 SUNDAY 桂宮治 全国ツアー2023 ～Remember Miyaji～

チケット発売中

2021年抜擢真打から昨年の長寿番組の大喜利コーナーの新メンバーに就任へと、噺家としてのスタートの遅さをひっくり返すほどの破竹の勢いでキャリアを築き、テレビ・ラジオでも活躍する圧倒的パワーの桂宮治が落語会に疾風を巻き起こす!!



■会場／神戸朝日ホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 ¥3,500
■チケット取扱い／下記④⑤⑥
■Pコード／519-365
■Lコード／56954
※未就学児入場不可

チケット取扱い
①プリーゼチケットセンター ☎06-6341-8888(11:00～15:00, 発売日のみ10:00～、窓口での販売は発売日翌日11:00～) https://www.sankeihallbreeze.com
②びわ湖ホールチケットセンター ☎077-523-7136(10:00～19:00 火曜休館) https://www.biwako-hall.or.jp/ チケット窓口(10:00～19:00 火曜休館)
③みつなかホール ☎072-740-1117 ④チケットぴあ https://t.pia.jp ⑤ローソンチケット https://l-tike.com ⑥イープラス https://eplus.jp ⑦楽天チケット https://r-t.jp/

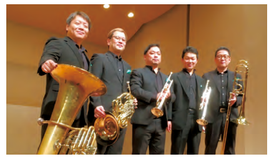
住友生命いずみホール

TEL.06-6944-1188 《チケット購入・お問合せ》 https://www.izumihall.jp 《チケット購入OK》

9/4 MONDAY ランチタイム・コンサート vol.20 金管五重奏に親しもう 兵ブラス・クインテット

チケット発売中

◎出演／菊本和昭・西馬健史、垣本昌芳、岡本 哲、瀬見裕章
◎曲目／タニー・ボーイ、リベルタンゴ、アメイジング・グレイス ほか



平日お昼に、気軽にクラシック音楽を楽しんでいただく「ランチタイム・コンサート」。N響や京響で活躍する奏者で結成された「兵(つわもの)ブラス・クインテット」が登場します。良く知られる名曲から、金管五重奏のための作品まで、美しい音色をお届けいたします。堀朋平のトークで、楽曲や出演者、金管楽器の魅力をお伝えし、コンサートをより深くお楽しみいただきます。

◎「ホテルニューオータニ大阪レストラン ランチセットプラン」をご用意!
※詳しくはホームページで

■会場／住友生命いずみホール ■開演／11:30
■料金(税込)／全席指定 ¥2,500 ■チケット取扱い／下記①⑤
■Pコード／242-546 ※未就学児入場不可

9/16 SATURDAY シューベルト――約束の地へ Vol.2 いま、超越へ――バッハ・コレギウム・ジャパン

チケット発売中

◎出演／鈴木雅明(指揮)、バッハ・コレギウム・ジャパン ほか
◎曲目／シューベルト交響曲 第7番 D759(未完成)、ミサ曲 第5番 D678

シューベルト後期作品の各ジャンル"最高峰"を特集する、住友生命いずみホール年間企画「シューベルト――約束の地へ」。Vol.2では、鈴木雅明率いるバッハ・コレギウム・ジャパンによる〈大ミサ曲〉をお贈りいたします。安川みく、清水華澄、鈴木 准、大西宇宙ら注目の歌い手も登場、シューベルトの音楽と対峙する歴史的なステージです。





◎15:30～ 鈴木雅明&堀朋平 音楽アドバイザーによるプレトーク実施予定
メルマガ・クーポン対象公演 ※詳しくはホームページで

■会場／住友生命いずみホール ■開演／16:00
■料金(税込)／全席指定 SV10,000 AV7,000
U-30¥4,000 ※小学生～30歳以下の方への特別価格(限定数/先着)
■チケット取扱い／下記①⑤ ■Pコード／237-024
※未就学児入場不可

あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

TEL.06-6363-7999 《チケット購入・お問合せ》 https://phoenixhall.jp/

10/6 FRIDAY ティータイムコンサートシリーズ164 ラファエル・アギーレ ギターリサイタル

チケット発売中

◎曲目／J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 二短調 BWV1004より「シャコンヌ」、ショパン：「雨だれ」24の前奏曲集より 第15番 op.28-15、パコ・デ・ルシア：月に映えて ほか

世界を圧倒する スーパー・ギタリスト初登場!

ギターコンクールの最高峰「フランシスコ・タレガ国際ギターコンクール」優勝をはじめ、13の国際コンクールで優勝した経歴を持つスーパーギタリスト。"神の祝福を受けたギタリスト"と称されるように、卓越した技術、他に類を見ない音楽性を有する唯一無二の存在です。特に自国スペインのフラメンコ音楽を得意とし、その演奏は世界中で絶賛されています。今回はフラメンコをはじめ、ギターならではの名曲をたっぷりとお届けします。これまでギターを聞いたことがない人にこそ聴いて欲しいプログラムです。この機会に是非!



■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥3,500(友の会会員¥3,150) 学生(25歳以下)¥1,000
■チケット取扱い／下記②⑥ ■Lコード／56213 ※未就学児入場不可 ※託児サービス有(要申込) ※学生券は②のみ取扱い

ロームシアター京都

TEL.075-746-3201 《チケット購入・お問合せ》 https://rohmtheatrekyoto.jp/ 《チケット購入OK》

11/4 SATURDAY 11/5 SUNDAY 太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ)「金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima」

※フランス語上演(多言語の使用場面あり)・日本語字幕付き(2階客席にて英語字幕あり)

チケット発売中

◎作・出演／太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ) ◎演出／アリアーヌ・ムヌーシュキン(2019年京都賞受賞)
◎創作アシスタント／エレーヌ・シクスー ◎音楽／ジャン＝ジャック・ルメートル

伝説の劇団「太陽劇団」22年ぶり 2度目の来日にして初の関西公演が実現!

世界的演出家アリアーヌ・ムヌーシュキン率いるフランスの太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ)の22年ぶりとなる来日公演、そして初の関西公演がこの秋ついに実現します。ムヌーシュキンが愛してやまない日本文化へのオマージュを込めた新作「金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima」。日本と思しき架空の島を舞台に、謀略と権力闘争、国際演劇祭を巡る虚々実々、愛と哀しみの人間模様が、演劇的な表現様式を駆使して描かれます。太陽劇団が放つ劇的のダイナミズムに、ご期待ください。







■会場／ロームシアター京都 メインホール ■開演／各日14:00
■料金(税込)／全席指定 SV8,000 AV6,000
ユース(25歳以下)¥4,000 18歳以下無料(要申込)
■チケット取扱い／下記③⑤⑥⑦⑧
■Pコード／519-574 ■Lコード／53017 ※未就学児入場不可
※ユース(25歳以下)および18歳以下チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)をご提示ください
◎10月20日(金)～26日(木)東京公演あり

◎18歳以下無料ご招待!(1公演あたり300席)
ご観劇当日に小学校1年生～18歳以下の方に限り、無料招待用の座席エリアにてご観劇いただけます。
※お申込み方法等、詳細はWEBサイトからhttps://rohmtheatrekyoto.jp/lp/theatre-du-soleil-japan2023/kyoto-u18/

すばるホール

TEL.0721-25-0222 《お問合せ》 http://subaruhall.org/ 《チケット購入OK》

12/3 SUNDAY 舞台「アカシアの雨が降る時」

9/15(金)～チケット発売

◎出演／竹下景子、鈴木福、松村武 ◎作・演出／鴻上尚史

母が倒れた。病院に駆けつけると、母は20歳の大学生だと思い込んでいた。そして、私の息子を、つまり、母の孫を自分の恋人だと信じて呼びかけた。母の恋人、つまり私の父と息子は、顔がよく似ていた。母と父は大学生の時に出会ったのだ。医者は、母は病気であり、母の妄想を否定してはいけないと告げた。息子は母の恋人として話し、私は恋人の父、つまりは私の祖父として振る舞った。こんがらがった関係の中、母は大学へ戻ると言い出した。70年代初頭、恋と革命が途方に暮れ始めるキャンパスへ。
3世代の個性的な登場人物が彩る、時と記憶を巡る家族の物語。



■会場／すばるホール 2階ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥4,000(当日¥4,500) 高校生以下¥2,000(当日¥2,500)
■チケット取扱い／下記④⑤⑥ ■Pコード／520-301 ■Lコード／54221 ※未就学児入場不可
◎助成／文化庁文化芸術振興費補助金統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャリバン2) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

チケット取扱い
①住友生命いずみホール チケットセンター ☎06-6944-1188(10:30～17:00 日・祝日休業) https://www.izumihall.jp/ticket/ ②ザ・フェニックスホールチケットセンター ☎06-6363-7999(10:00～17:00 土・日・祝日休業)
③ロームシアター京都 ☎TEL.075-746-3201(10:00～17:00年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり) https://www.e-get.jp/kyoto/pt/ ④すばるホール(チケット専用) ☎0721-26-2060 http://subaruhall.org/
⑤チケットぴあ https://t.pia.jp ⑥ローソンチケット https://l-tike.com ⑦イープラス https://eplus.jp ⑧京都コンサートホールチケットカウンター ☎075-711-3231(窓口・電話とも10:00～17:00 第1・3月曜日休館※休日の場合は翌日)



Osaka 4major Orchestras

大阪4大オーケストラ クラシックの広場

Plaza of Classical Music

大阪を拠点に活動する4つのプロのオーケストラが“クラシック音楽の魅力”をお伝えする合同企画です。貴方も気軽にオーケストラと、オーケストラの奏でる素晴らしい音楽に触れてみませんか?!

大阪4大オーケストラ合同企画 Vol.18〈大阪交響楽団〉

Osaka 4major Orchestras Special Content

森下幸路 スペシャルインタビュー

Special Interview Koji Morishita

大阪交響楽団首席ソロコンサートマスターが語る、名誉指揮者外山雄三との思い出。

2023年7月11日、92歳で亡くなった大阪交響楽団名誉指揮者 外山雄三。深い信頼関係で結ばれていて、「私には先生から教えて頂いたことを、伝えて行く責任がある」と話す森下幸路に、あんなコトやこんなコトを聞いた。



―― 外山さんとのお付き合いは、随分以前からあったそうですね。

30代半ばまで、外山先生が音楽監督に就かれていた仙台フィルのコンサートマスターを務めていました。当時の私は先生の仰っている真意が分からず我儘で、結果、勢いに任せて辞めてしまいました。その翌年の2001年、大阪交響楽団のコンマスに就任するのですが、2009年に先生が定期演奏会を振りに来られました。意を決してご挨拶をしましたが、先生は何も無かったように振る舞ってくださいました。先生には2016年にミュージック・アドバイザーに就任されるまで3度指揮をお願いしましたが、楽譜の読み方などをイチから教えて頂きました。客演指揮者がここまで対応されるのは異例のこと。この時の実績が、後にシェフをお願いする決め手になりました。

―― シェフに就任されてからは如何でしたか。

今の若い30代、40代の一部の団員は、先生が何を言われているか理解不能。「あの棒では分からない」と言いたげです。私もそうだったので、よくわかります（笑）。2016年以降は、先生の思いをどう伝えるか、本当の意味でのパイプ役に徹して来ました。

―― 外山さんとの思い出は何かありますか。

音楽は、生ある者と天国を繋ぐものかもしれませんね。ベートーヴェンを弾いていると「こうやって弾くのだよ」と、先生の声が聞こえるような気がします。先生と共有した音楽は、今では私の宝物。芸術の世界を共有できた仲間との関係は永遠です。

―― カーテンコールでは、あまりセンターに立たれない印象を受けていました。

先生は、お客様から頂く拍手は、演奏した作品に対してのものであって、個人に対するものではないという考えをお持ちです。自分が前に出て拍手を受けるのは、先生の考えに合わなかったのではないでしょうか。

―― 追悼盤として、外山雄三のヴァイオリン協奏曲のCDリリースが急遽決まったようですね。

先生とのコンチェルトがCDになるのは嬉しいです。実は先生の1番のコンチェルトは、ヴァイオリン・ソナタにもなっていて、昨年私のアルバム「SPRING」に収録しました。その演奏を先生がすごく喜んでくださって、温かいメッセージを頂きました。私は先生に「もう1曲、短くてもいいので、ヴァイオリンとピアノの曲を書いてください。」とお願いしました。昨年12月の事です。今回の件で元気を無くしているある日、先生の奥様から連絡を頂き、「主人は森下さんとの約束を果たそうと、少しですが曲を書き始めていたのですよ。」とお聞きしました。泣きましたね。奥様には、素案だけでもぜひ拝見させてくださいとお願いしています。

―― 今の率直な気持ちをお願いします。

外山先生は私に、音楽に対する姿勢や、音楽家としての所作を教えてくださいました。先生はお亡くなりになられましたが、先生とは演奏を通して、いつでも会話が出来る気がします。でも…やはり寂しいです。

©Interview&Text／磯島浩彰

大阪フィルハーモニー交響楽団

TEL.06-6656-4890 http://www.osaka-phil.com

9/22 FRIDAY オーケストラキャラバン2023 川西特別演奏会

チケット発売中

○指揮／尾高忠明 ○独奏／中野りな ○管弦楽／大阪フィルハーモニー交響楽団
○曲目／〈オール・シベリウス・プログラム〉序曲「フィンランディア」、ヴァイオリン協奏曲、交響曲 第2番

文化庁の支援を受け、地域のホールにてオーケストラ公演をおこなう“オーケストラキャラバン事業”。川西市みつなかホールは座席数480席と小規模で、最後列からでもステージが間近に感じられる魅力的なホールです。指揮者は大阪フィル・音楽監督尾高忠明。札幌響とのシベリウス交響曲全曲演奏の録音を残すなど、シベリウスは尾高の得意とする作曲家のひとりです。これまで関西では演奏機会が少なかったため、このプログラムに歓喜の声が多数上がっています。ぜひお越し下さい。


©Martin Richardson


©kiseki michiko

■会場／川西市みつなかホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 ¥4,000 学生¥1,500
■チケット取扱い／下記①③⑤
■Lコード／54343 ※未就学児入場不可

11/1 WEDNESDAY 平日お昼の名曲セレクション マチネ・シンフォニー Vol.30

チケット発売中

○指揮／齋藤一郎 ○ヴァイオリン／須山暢大 ○管弦楽／大阪フィルハーモニー交響楽団
○曲目／ミュージカル「キャンディード」序曲、ミュージカル「南太平洋」より 魅惑の宵、映画「シンドラーのリスト」テーマ ほか

30回目を迎える「マチネ・シンフォニー」。今回は齋藤一郎の指揮で、前半はオペラを中心としたクラシックの名曲、後半は映画やミュージカルの音楽を特集、いつもと違う趣向でお届けいたします。そして大阪フィル・コンサートマスター須山暢大がソリストとして登場。プログラム前半のサン＝サーンスの名曲「序奏とカプリチオーソ」を格調高く、後半は一転、映画「シンドラーのリスト」の美しいメロディーを哀切に奏でます。平日の午後のひととき、シンフォニーホールで楽しい時間をお過ごしください。


©越島隆

■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 AV5,100 BV3,100
■チケット取扱い／下記①②③④⑥
■Pコード／232-998 ■Lコード／54276 ※未就学児入場不可

取扱い ①大阪フィル・チケットセンター ☎06-6656-4890 ②チケットぴあ https://t.pia.jp ③ローソンチケット https://l-tike.com ④イープラス https://eplus.jp ⑤みつなかホール ☎072-740-1117 ⑥ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333 http://www.symphonyhall.jp

関西フィルハーモニー管弦楽団

TEL.06-6115-9911 https://kansaiphil.jp

9/13 WEDNESDAY 関西フィルハーモニー管弦楽団 第340回定期演奏会

チケット発売中

○指揮／マチュー・ヘルツォーク ○ヴァイオリン／オーギュスタン・デュメイ ○曲目／モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 K.527、モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216、ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

10月に音楽監督A.デュメイとともに第2回欧州公演に挑む関西フィル。それに先駆け、9月の定期、及びいずみホールシリーズでは、欧州で演奏する曲目を先行してお披露目します。定期では昨年の9月に共演したマチュー・ヘルツォークが再登場。前回シマノフスキ「交響曲 第2番」で鮮烈な印象を残した気鋭の若手が、言わずと知れた名曲「新世界より」を披露。世界に轟くマルチな才能が描く新大陸は、果たしてどのような風景となるのか、どうぞご期待ください。名曲の神髄に迫るアカデミックな演奏会、クラシックビギナーにもオススメです。


©rem hiero


©ELINA

■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 SV6,500 AV5,000 BV3,500 CV2,500 学生席（25歳以下）¥1,000 ■チケット取扱い／下記①②③④
■Pコード／242-001 ※未就学児入場不可 ○協賛／阪急電鉄株式会社、株式会社三晃空調 ○特別協賛／ダイキン工業株式会社

9/18 FRIDAY HOLIDAY 住友生命いずみホールシリーズVol.56 デュメイのモーツァルト・マスターシリーズ 2

チケット発売中

○指揮／オーギュスタン・デュメイ ○ピアノ／児玉 桃 ○曲目／モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲 K.492、モーツァルト:ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467、モーツァルト:交響曲 第40番 ト短調 K.550

今シーズン3回に渡っていずみホールでお送りする「モーツァルト・マスターシリーズ」。第2回目となる今回は、モーツァルトの人気作を並べた贅沢なツィクルスをお届けいたします。「フィガロの結婚」序曲に続いて、「ピアノ協奏曲 第21番」でソリストを務めるのは、関西フィル、そしてデュメイとの共演経験も豊富な大阪生まれの国際派ピアニスト、児玉桃。ヨーロッパ公演でも披露する黄金タッグによる珠玉のコンチェルトをお楽しみください。デュメイの奏でる哀感と緊迫感に満ちた「交響曲 第40番」も必聴です。ぜひ会場に足をお運びください。


オーギュスタン・デュメイ ©Syamamoto


児玉 桃 ©Marco Borggreve

■会場／住友生命いずみホール ■開演／15:00 ■料金（税込）／全席指定 SV5,500 AV4,500 学生席（25歳以下）¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ■Cコード／242-002 ※未就学児入場不可
○協賛／住友生命いずみホール[一般財団法人 住友生命福祉文化財団]、株式会社大塚製薬工場 ○特別協賛／ダイキン工業株式会社

取扱い ①関西フィルハーモニー管弦楽団 ☎06-6115-9911 ②チケットぴあ https://t.pia.jp ③イープラス https://eplus.jp ④関西フィルWebチケット https://yyk1.ka-ruku.com/kansaiphil-s

大阪交響楽団

TEL.072-226-5522 https://sym.jp

9/28 THURSDAY 第266回 定期演奏会「 フランス・エスプリの世界」 ラロ生誕200年/ブーランク没後60年

チケット発売中

○指揮／デリック・イノウエ ○ヴァイオリン／竹澤恭子 ○ソプラノ／蔦機絵理 ○合唱／大阪響コーラス ○合唱指揮／中村貴志 ○曲目／イベール:交響組曲「寄港地」(3つの交響的絵画)、ラロ:スペイン交響曲(ヴァイオリン協奏曲 第2番 ニ短調 作品21、ブーランク:グローリア

デリック・イノウエが6年ぶりに定期演奏会に登場。英仏二言語公用制を採るカナダ出身のイノウエらしい珠玉のフレンチ・プログラムです。海軍士官の経験を持つ作曲家イベールの南国情緒溢れる名作「寄港地」。スペイン系の血を引くラロの代表作「スペイン交響曲」では、国際的ヴァイオリニスト竹澤恭子の独奏に期待が高まります。そして生粋のパリジャンにして「修道僧と悪童が同居している」と言わしめたブーランクの作品から、宗教曲の「グローリア」を。ソプラノ独唱、合唱と管弦楽による豪華な響きをお楽しみに!


©satoru mitsuta


©松永 学



■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 SV6,000 AV5,000 BV3,500 CV2,500 オルガン席¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③ ■Pコード／233-753 ※未就学児入場不可

11/30 THURSDAY 第267回 定期演奏会「ロシアの憂愁とモダニズムの響き」 プロコフィエフ没後70年/チャイコフスキー没後130年

チケット発売中

○指揮／オラ・ルードナー ○ピアノ／マリオ・ヘリング
○曲目／プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26、チャイコフスキー:交響曲 第6番 ロ短調 作品74「悲愴」

大阪交響楽団と親密な関係を築き上げてきたスウェーデン出身の名指揮者オラ・ルードナーが客演し、ロシアン・プログラムに挑みます。ロマノフ王朝末期に書かれたチャイコフスキー生涯最後の大作である交響曲 第6番「悲愴」。そして、ドイツの若手ピアニスト、マリオ・ヘリングの気鋭溢れる独奏でお届けする、ソ連の樹立直前にシカゴで初演されたプロコフィエフならではの抒情性やモダニズムが光る「ピアノ協奏曲 第3番」。ロシアの国家的大転換点となった革命前夜に作曲された2つの名作に、様々な想いを馳せる一夜となるに違いありません。


©Nancy Horowitz


©Nikolaj Lund

■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 SV6,000 AV5,000 BV3,500 CV2,500 オルガン席¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③ ■Pコード／244-759
※未就学児入場不可

取扱い ①大阪交響楽団チケットセンター ☎072-226-5522（平日10:00～17:00） http://sym.jp/ ②チケットぴあ https://t.pia.jp ③ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333 http://www.symphonyhall.jp

日本センチュリー交響楽団

TEL.06-6848-3311 https://www.jcso.or.jp

11/24 FRIDAY 日本センチュリー交響楽団 第277回定期演奏会

チケット発売中

○指揮／秋山和慶 ○チェロ／アントニオ・メネセス ○ヴィオラ／須田祥子 ○管弦楽／日本センチュリー交響楽団
○曲目／ベートーヴェン:交響曲 第4番 変ロ長調 作品60、R.シュトラウス:交響詩「ドン・キホーテ」作品35

秋山和慶ミュージックアドバイザーによる、この秋一押しの公演。前半はベートーヴェンの“傑作の森”で生まれた古典的な美しさが光る交響曲 第4番。続いてリヒャルト・シュトラウスの大作「ドン・キホーテ」では世界的チェリスト アントニオ・メネセスが登場! 当団首席客演奏者の須田祥子とともにソロを務めます。オーケストラ、チェロ、ヴィオラが躍動する冒険物語は必聴です!




©Clive Barda


©平野晋子

■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 AV6,500 BV5,000 CV3,500 DV1,500 ■チケット取扱い／下記①②③④⑤
■Pコード／232-821 ■Lコード／54095 ※未就学児入場不可

12/14 THURSDAY ハイドンマラソン HM.33

チケット発売中

○指揮／飯森範親 ○バセットホルン／持丸英一郎 ○管弦楽／日本センチュリー交響楽団 ○曲目／ハイドン:交響曲 第63番 ハ長調 Hob.I:63「ラ・クロクスラース」、交響曲 第98番 変ロ長調 Hob.I:98、シュターミッツ:バセットホルン協奏曲 変ロ長調

飯森マエストロとセンチュリーが挑み続ける一大プロジェクトも残すところあと1年半。今回は「ラ・クロクスラース」という愛称がつけられた第63番と、ロンドン・セットの一曲 第98番が選ばれました。そしてハイドンと同時代に活躍した作曲家 シュターミッツのバセットホルン協奏曲を当団首席クラリネット奏者の持丸のソロによりお届けいたします。深く美しい音色のバセットホルンの魅力が詰まった協奏曲、希少な機会をぜひ味わってください。


©鵜戸 博


©Syamamoto

■会場／ザ・シンフォニーホール
■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 AV5,000 BV4,000
■チケット取扱い／下記①②⑤
※未就学児入場不可

取扱い ①センチュリー・チケットサービス ☎06-6848-3311 https://www.jcso.or.jp/ticket/ ②ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333 http://www.symphonyhall.jp ③チケットぴあ https://t.pia.jp ④ローソンチケット https://l-tike.com ⑤イープラス https://eplus.jp

ザ・シンフォニーホール特別演奏会

尾高忠明×大阪フィル メンデルスゾーン チクルス

～メンデルスゾーンへの旅～

Vol.2 ピアノ協奏曲 第1番 交響曲 第4番「イタリア」 ほか

ピアノ：務川慧悟

2023 8.25 金 まもなく

午後7:00開演

A席 5,000円/B席 4,000円

指揮：尾高忠明

★今後のメンデルスゾーン・チクルス★

Vol.3 2023 11.9 木 発売中 交響曲 第3番「スコットランド」 ほか

Vol.4 2024 2.15 木 11月28日発売 交響曲 第2番「讃歌」 ほか

ご予約お問合せ 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 http://www.osaka-phil.com

営業時間 平日10:00～18:00 土曜10:00～13:00（日・祝・休） 会場 ザ・シンフォニーホール ※未就学児の入場は不可

関西フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会 supported by NTT西日本

鈴木優人 首席客演指揮者 就任披露 記念演奏会

【指揮】鈴木優人（関西フィル首席客演指揮者）

【ソプラノ】森麻季

【テノール】鈴木准

【バリトン】加耒徹

ラモー（鈴木 優人編）「優雅なインドの国々」組曲

ストラヴィンスキー「プルチネルラ」（全曲版）

ブラームス 交響曲第1番 ハ短調 作品68

10.20 金 [19:00開演(18:00開場)] ザ・シンフォニーホール

S¥6,500 A¥5,000 B¥3,500 C¥2,500 学生席[25歳以下] ¥1,000 [全席指定・消費税込] ※未就学児入場不可

ご予約・お問合せ
● 関西フィルハーモニー管弦楽団 ☎06-6115-9911
● 関西フィルWebチケット https://yyk1.ka-ruku.com/kansaiphil-s
● ザ・シンフォニーチケットセンター ☎06-6453-2333（火曜定休） https://www.symphonyhall.jp
● チケットぴあ https://t.pia.jp [Pコード:245-753]
● イープラス https://eplus.jp

藤岡幸夫＆関西フィル出演中! 好評放送中 BSテレ東 エンター・ザ・ミュージック BSテレ東（7ch）にて毎週土曜日8:30～9:00 提供 阪急電鉄株式会社 HEBEL HAUS

主催 公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団 協賛 NTT西日本・特別協賛 ダイキン工業株式会社
○文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（劇場団体支援）独立行政法人日本芸術文化振興会

大阪交響楽団

第129回 名曲コンサート 「モーツァルト・ア・ラ・カルト」

2023. 11/11（土）

昼の部 13:30 開演 夜の部 17:00 開演

出演
指揮／柴田 真郁（ミュージックパートナー）
ソプラノ／中川 郁文 アルト／山際 きみ佳
テノール／渡辺 康 バス／田中 大揮
合唱／大阪響コーラス（合唱指揮：中村 貴志）

曲目
ミヒャエル・ハイドン：交響曲 第39番 ハ長調 P.31,MH478
モーツァルト：交響曲 第25番 ト短調 K.183(173db)
モーツァルト：死者のためのミサ曲「レクイエム」 ニ短調 K.626（レヴィン版）

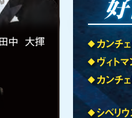
料金 S席：3,500円 A席：3,000円

チケットお申込み・お問い合わせ 大阪交響楽団チケットセンター TEL.072-226-5522（平日10:00～17:00）


©T. Tairadate


©Masaaki Hiraga





会場／ザ・シンフォニーホール
主 催／公益社団法人 大阪交響楽団
特別協賛／大和ハウス工業株式会社

MEG特典 チケット郵送手数料 500円 無料!

※お申込み時、「MEGを見た」とお伝えください。

日本センチュリー交響楽団

第275回定期演奏会

飯森のタクトが唸る! 現代作曲家ヴィトマンの協奏曲、カンチェリ作品に凄腕ソリスト登場。
現存するシベリウス生涯最後のシンフォニーとお届けする魅惑の一夜!

好評発売中!!

◆カンチェリ タンゴの代わりに（オーケストラ編成版）
◆ヴィトマン ヴァイオリン協奏曲 第1番
◆カンチェリ 弦楽オーケストラ、ピアノとパーカッションのための「SIO」
◆シベリウス 交響曲 第7番 ハ長調 作品105

9.22[金]
開演19:00（開場18:00）
ザ・シンフォニーホール

[指揮] 飯森範親 ©山岸 伸

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

[ヴァイオリン] 神尾真由子 ©Makoto Kamiya

[ピアノ] 高橋優介 ©Ayane Shindo

全席指定（税込） A¥6,500 B¥5,000 C¥3,500 D¥1,500（完売）

お問合せ・お申込 センチュリー・チケットサービス TEL.06-6848-3311（平日10:00～18:00） https://www.jcso.or.jp/ticket/

パフォーミング・アーツの新しい広場

箕面市立メイプルホール
MINOH-CITY MAPLE HALL

TEL.072-721-2123 《チケット購入・お問合せ》 https://minoh-bunka.com/ 《チケット購入OK》


大阪府箕面市

塾長 布施砂丘彦



箕面おんがく批評塾

MESSAGE FROM FUSE SAKUHIKO

「箕面おんがく批評塾」は、音楽について語り合い、音楽とは何か、音楽は何のためにあるかを徹底的に考える場です。この塾が目指すことは音楽評論家を育成することではありません。ふだん音楽に接するときにその体験がより深くなる、あるいはより陰影に富んだものになることを目指しています。さて、わたしはいまここで「批評」と「評論」という2つの似た言葉を使いました。箕面おんがく批評塾ではこの2つの言葉を明確に使い分けています。評論は、批評を文章にして論じたもの、評論文のことを指しています。一方で批評とは、対象を吟味して検討する意識や精神のことを指しています。つまり批評は成果物ではなく、その手前にあるものです。たとえば演奏家は対象となる楽曲を批評し、音を出すという行為によって演奏という結果を生み出します。作曲家は（多くの場合）音楽における素材や形式、過去の作品などを批評し、音符にするという行為によって楽曲という結果を生み出します。そして演奏や楽曲などの対象を批評し、文章にするという行為によって出来た成果物が評論、あるいは評論文です。作曲、演奏、聴取、いずれにもかかせないのが批評という意識であり精神なのです。これを鍛えることによって、音楽の見方をがらりと変えよう、深めよう、そんなことを目的としています。小難しいようなことを並べてしまいましたが、実際の批評塾はそうではありません。クラシック音楽の愛好者の方から、普段は趣味でジャズを演奏されている方、音楽をあまり聴かないという方まで、さまざまな方々が塾生として集って、共に考えています。いろいろな方がいるからこそさまざまな見え方があって面白い。わたしにとっても発見だらけの場です。

布施砂丘彦（ふせ・さくひこ） 東京藝術大学卒業。プロオーケストラへの首席客演や実験音楽の演奏を行うほか、ピリオド楽器の演奏および研究もしており、アントネッロやバッハ・コレギウム・ジャパンなどの公演に出演。多様なサイズ、調弦のヴィオローネを演奏する。また、新型コロナウイルスによるパンデミックをきっかけに音楽批評に取り組み、時評「音楽の態度」で第7回柴田南雄音楽評論賞奨励賞を受賞しデビュー。朝日新聞の連載「for your Collection クラシック音楽」をはじめとして音楽雑誌やCDのライナーなど多くのメディアに寄稿している。現在は自らの活動の中心としてコンサートの企画制作、プロデュースを行っている。2022年には音楽祭「箱根おんがくの森」を立ち上げ、アートディレクターに就任。オルケストル・アヴァン＝ギャルド首席コントラバス奏者。ミヒャエル・ハイドン・プロジェクト主宰。

パフォーミング・アーツ最前線。演奏、批評、企画の3つの領域で活動する新世代の音楽家・布施砂丘彦さんが塾長の「箕面おんがく批評塾」をレポート

6月10日に箕面市立西南生涯学習センターで開講した「箕面おんがく批評塾」。実は、箕面市と塾長の布施さんは、この「批評塾」でつながったご縁だといいます。なぜ布施さんを起用されたのでしょうか。（公財）箕面市メイプル文化財団芸術創造センターマネージャーの和田大資さんに聞きました。「SNSで布施さんの野心的で独自性のある活動を知り、そこに新しさと可能性を感じて、連絡を差し上げました。そうして布施さんが生まれて初めて箕面に来られたのが去年の夏。そこから布施さんのパフォーミング・アーツ（実演芸術）と箕面市民がどんな化学反応を起こすのか、という切り口で『箕面おんがく批評塾』を立ち上げました」。私が参加したのは7月9日の第3回『音楽批評の実践1 一緒に考える』。コントラバスの演奏を批評するというものでした。まず、批評とは何か。批評するための大前提として知識や情報が必要と布施さんは続けます。それら前提の上で対象物を吟味し、検討する。布施さんの分かりやすい講義に、難しいと思っていた批評のハードルが少し下がったように感じました。そして本編へ。まずはコントラバスの歴史や成り立ちを学びます。「今日、帰る頃にはプロの演奏家よりもコントラバスについて詳しくなっているかもしれません」と布施さん。時折ユーモアも交えた話術に笑いが生まれ、自然と肩の力が抜けていきます。続いてはコントラバスの役割について、映像や実演も取り入れて解説。コントラバスの知識がどんどん膨らみ、確かに帰るころにはかなり詳しくなっていそうです。されど批評はできるのか…再び肩に力が入ってしまいました。休憩を挟み、批評をするためのコントラバスの演奏を。布施さんは、このために東京からコントラバスを持ち込まれたそうです。楽曲は、1970年代に作曲家のトム・ジョンソンが書いた《失敗〜コントラバスのための非常に難しい小品》。コントラバスを演奏しながらセリフを読むという弾き語りの作品で、セリフはアドリブとも区別しがたい、とても興味深いものでした。いよいよハイライト、布施さんが演奏した《失敗》の批評を考えます。前半の講義内容を反芻しながら考えるも、「これは批評か？」という疑念が湧いてきます。また、受講者の批評は十人十色、着眼点もひとつとして同じものはありませんし、批評を聞くうちに自分の考えがいかに狭く、浅いかと痛感しました。ですが、次第に批評とは自分の枠を超えること、批評する側も、される側もそうではないのかという考えに至りました。多角度的に吟味、検討するからこそ対象物が醸成する。批評には文化を支える役割があるというのはこのことかと、その存在意義も知り得た気になりましたが、それも14人の批評を聞いたからこそ思い至ったこと。みんなで学ぶと面白い！と、ひとりワクワクしました。2023年度の受講生募集は締め切りましたが、箕面市で発芽した新たな文化がどのような大樹へと成長するのか、その行方も見届けつつ、来年度も開講されることを期待したいと思います。





◎Text／岩本和子

《身近なホールのクラシック》箕面市立メイプルホール（大阪府）へ。

◎阪急「大阪梅田駅」（宝塚方面）から箕面線「箕面駅」まで約26分▶▶「箕面駅」から徒歩約7分

アレクサンドル・タロー ピアノ・リサイタル

10.19 木 開演19:00（開場18:30）
［会場］メイプルホール大ホール
［料金（全指定席）］一般¥2,800（メイプルフレンド会員¥2,500） 大学生以下¥1,000
【チケット発売中】
18:45〜大ホール舞台上にて、音楽ライター 高坂はる香さんによるプレ・トークをおこないます（10分程度）。

PROGRAM
◆クープラン／5つの演奏会用小品集
◆ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲（アレクサンドル・タローによる編曲版）
◆クレーグ／抒情小品集より
（第1集作品12［アリエッタ］［祖国の歌］
第2集作品38［子守歌］［ワルツ］
第4集作品47［悲歌］［メロディ］
第3集作品43［春に寄す］［蝶々］
第8集作品65［トロルドハウゲンの婚礼の日］）
◆ドビュッシー／前奏曲集 第1巻より
（第1曲［デルフィの舞姫］／第3曲［野を渡る風］
第6曲［雪の上の足跡］／第10曲［沈める寺］
第7曲［西風の見たもの］）
◆ラヴェル／亡き王女のためのパヴァーヌ
ラ・ヴァルス
（アレクサンドル・タローによる編曲版）



ブラームス交響曲 全曲演奏会 Vol.3

10.27 金 開演19:00（開場18:30）
［会場］メイプルホール大ホール
［料金（全指定席）］
一般¥3,000（メイプルフレンド会員¥2,700）
大学生以下¥1,000
【チケット発売中】
18:45〜大ホール舞台上にて、音楽評論家 奥田佳道さんによるプレ・トークをおこないます（10分程度）。

PROGRAM
◆ブラームス／ハイドンの主題による変奏曲
◆ハイドン／交響曲第88番 ト長調「V字」
◆ブラームス／交響曲第3番 ヘ長調

管弦楽 大阪交響楽団
指揮 坂入健司郎


©樋川智昭

主催・問合せ （公財）箕面市メイプル文化財団 箕面市立メイプルホール ☎072-721-2123（9:00〜17:00 月曜休館 祝日の場合は開館） ※いずれも未就学児の入場はご遠慮ください

SPECIAL INTERVIEW 01

Yasuji Ohagi × Dai Miyata

大萩康司×宮田大

関西では大和高田さざんかホールだけで行われる特別なデュオコンサート

チェロとギターという異色の組み合わせによる二重奏が話題となっている。演奏するのはチェリスト宮田大とギタリスト大萩康司という共に輝かしい経歴を持ち、クラシック音楽シーンの第一線で活躍する二人だ。デュオの活動以外でも引く手数多の活躍を見せる二人に話しを聞いた。

―― 新たな全国ツアーが始まりましたね。

大萩:前回はアルバム「Travelogue」を実演で聴いて頂くツアーでした。レパートリーも増え表現力も高まり、もっと一緒に演奏したいという思いが強くなり、今回のツアーが決まりました。今回はシーズン2のような感じで、「Travelogue」の曲も何曲かやりますが、新たにイギリスを前面に押し出したプログラムをお聴き頂きます。

宮田:このツアーは、加藤昌則さん作曲の「ケルト・スピリット〜ギターとチェロのための〜」を聴いて頂きたいという所からスタートしました。ジョン・ダウランドの曲から始まり、ヴォーン・ウィリアムズ、そしてケルト・スピリットへと続くイギリスをテーマとした音楽の流れは、偶然の産物。前のツアーとの差別化が図れて良かったと思っています。

―― お二人の出会いを教えてください。

大萩:2015年の「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に、サイトウ・キネン・オーケストラの一員として参加していました。空き時間、別の曲のオーケストラ・リハーサルを客席で見ていたのですが、チェロパートの一角に宮田大さんを発見しました。咄嗟に挨拶をしておこうと思い、休憩時間に声をかけました。彼の音楽表現は前から好きで、挨拶で気持ちだけでも伝えておきたかったのです。

宮田:休憩時間にこちらに向かって歩いて来る人が、光の関係で輝いて見えました。輝く人の正体は大萩さん。カッコイイなぁ、というのが第一印象でした。大萩さんが色々な方と共演されていたのは存じ上げていたので、私も一緒に演奏出来たら嬉しいなと思って、声をかけさせて頂きました。2018年の八ヶ岳高原音楽堂での初共演から始まり、2020年にアルバム「Travelogue」をリリース。前回のツアーでは全国25か所ほどで公演させて頂きました。

―― お互いの演奏上の特徴を教えてください。

宮田:チェロとギターでは楽器の特性上、音の速度が違います。大萩さんのチェロは一音一音を大切に、音を点ではなく面としてアプローチをしてくださるので音が見事にマッチします。また音楽の自由度が高い事も魅力ですね。リハーサル通りでは無く、本番のステージ上で起こる良い意味でのハプニングや対話がとにかく楽しい。一期一会の演奏をお楽しみいただけると思います。

大萩:ツアーでもずっと隣で聴いていたからというのもあるかもしれませんが、オーケストラやチェロアンサンブルの中にあっても、彼の歌の様に表現される音はすぐに耳がキャッチします。時に歌を超える歌心、そして、彼の人柄の良さですね。それが音楽に表れています。

―― 今回のツアー、関西では奈良県大和高田のさざんかホールだけです。

宮田:私はこれまで別のユニットで2度お世話になっていますが、スタッフの皆さんのホスピタリティの高さにいつも感動します。音響的には響き過ぎず、読腐化しの利かないホールで、ギターとチェロの対話をしっかり楽しんで頂けると思います。関西方面にお住いの皆様、10月1日はさざんかホールにお集まりください！ 私たちの楽譜は門外不出ですので、この編曲でこれらの曲を聴く機会は本当に今回限りです。

大萩:コンサートホールでのライブ演奏は、倍音が飛び交っていて、音の響きを肌で感じられます。そして大君の人柄に触れられるチャンス（笑）。ぜひ体感しに、さざんかホールにお越しください。皆様のご来場をお待ちしています。

◎Interview&Text／磯島浩彰

10/1 SUNDAY【チケット発売中】
「宮田大&大萩康司 デュオ・コンサート in 大和高田 」

■会場／大和高田さざんかホール ■開演／14:00
■料金（税込）／一般¥3,000 高校生以下¥500
■お問合せ／さざんかホール TEL.0745-53-8200


©日本コロムビア


©日本コロムビア

SPECIAL INTERVIEW 02

Takushi Matsui × Tomohiko Mizutani

松井拓史×水谷友彦

狂乱のベル・エポック 〜大乱闘フレンチ・コンボーザーズ〜



音仏戦争の敗北を機に、反ドイツ感情は高まりを見せ、フランス国内では「フランスらしい音楽」を求めて、フランス人作曲家の間で大論争が起こる。とは言え、バッハやベートーヴェンの影響を排除するなど難しく…。一体どうなって行くのか。そんなことを、ピアノ三重奏というジャンルから考察するのが、このレクチャーコンサートのテーマ。気鋭の音楽学者松井拓史と、出演者を代表して、ピアノの水谷友彦に聞いた。

―― ピアノ三重奏についてのレクチャー付きのコンサートだそうですが、どうしてこれを思い付かれたのですか。

松井:ピアノ三重奏の歴史に関する研究は殆どありません。研究家から軽視されてきたジャンルなので、論文も英語の薄いものが僅かにあるだけです。だったら、自分でやってみようというのが、そもそもの始まりですね。例えば弦楽四重奏だと、対等な4本の弦楽器をどう絡ませて曲を作るか、作曲家の多くは腕の見せ所だと思って取り組んでいますが、ピアノ三重奏は楽器編成的に個性が出し辛いから、彼らは重要なジャンルだと思っていなかったようです。ただ、実際には、ヴァイオリン、チェロ、ピアノの誰もが主役になりうるピアノ三重奏は、リスナーにとてもスリリングかつ魅力的に迫って来ます。親しみのあるピアノが使われている事で、一般的には弦楽四重奏よりも人気があるようにさえ映ります。まあ、庶民が好むものを一部のエリートが学者が俗っぽいと嫌う傾向は、よくある事だと思います。

―― チラシの「大乱闘、フレンチコンボーザーズ」は衝撃的なキャッチですね。

松井:ちょっと意識してインパクトのあるタイトルにしてみましたが、あながち嘘ではありません。実際には暴力事件こそおこっていませんが、作曲家の間で大論争がおこっていたので、まあ大乱闘でいいかという感じです。日本のクラシック音楽界で、コンサートタイトルに"大乱闘"と付いたのはコレが初めてではないでしょうか（笑）。

―― 音仏戦争は、フランス人作曲家に大きな影響を与えました。

松井:音仏戦争の敗北を機に、反ドイツ感情が高まり、"フランスらしい音楽"を求めてフランス人作曲家の活躍が始まります。強硬に反対するサン＝サーンスに対して、フランクやダンディの姿勢はもう少し柔軟です。その後、硬直したフランス音楽界を批判し、前衛的な事をやるべきだとドラヴェルやドビュッシーが登場します。細かな話は当日に譲りますが、レクチャーで語る内容を、フランク、ダンディ、ラヴェルのピアノ三重奏曲を聴きながら確認してみてください。

―― レクチャーコンサートとは思えない豪華な出演者ですね。

水谷:出演者もピアノ三重奏の変遷を意識しながらの演奏ということで、とても新鮮な思いで演奏しています。自分で言うのも何ですが、ヴァイオリン郷古廉、チェロ水野優也にピアノが私、水谷友彦という豪華なメンバーが揃っているので、演奏もしっかりお聴き頂けると思っています。前回は全ての曲が一部の楽章のみの抜粋でした。1曲でもいいので、全部通して聴きたいという声が多かったので、今回ラヴェル全楽章お聴き頂きます。

―― この先、このシリーズはどうなって行きますか？「MEG関西版」の読者へのメッセージと合わせてお願いします。

松井:アメリカやロシアをはじめ、辺境のチェコやスペインでピアノ三重奏がどんな風な変遷をみせたのか、今後はその辺りを追求していこうと考えています。レクチャーと演奏が聴けるお得なコンサートです。ぜひお越しください。お待ちしています。

水谷:予備知識など無く、軽い気持ちでお越しください。松井さんの分かりやすい講義と、私たちの演奏の両方が聴けて、得した気持ちになるはずです（笑）。繁華街梅田の真ん中のザ・フェニックスホールでお待ちしています！

◎Interview&Text／磯島浩彰

11/25 SATURDAY【チケット発売中】
「ピアノ三重奏の歴史」vol.2
狂乱のベル・エポック 〜大乱闘フレンチ・コンボーザーズ〜

◎出演：郷古廉（ヴァイオリン）、水野優也（チェロ）、水谷友彦（ピアノ）、松井拓史（レクチャー）
■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥3,500 学生（25歳以下）¥1,000
■お問合せ／ザ・フェニックスホール チケットセンター TEL.06-6363-7999（平日10:00〜17:00 土日祝休業）

SPECIAL INTERVIEW 03

Sayaka Shoji

庄司紗矢香

常に新しい表現を求めるヴァイオリニスト庄司紗矢香 トップスターを迎えたフランスの風を感じる室内楽

幾度となく共演したモディリアーニ・カルテットとの一体感ある演奏と、初共演となるイギリスの若き天才ピアニストのグローヴナー、今回どのような音楽を創り上げるか名演に期待が高まる。

―― 日本での公演についてお聞かせください。

私はフランスを拠点にして20年近くになります。実際に住んでみてはじめてフランスにおけるジャポニスムの影響が、教科書で学んで想像していた以上に大きく、現在においても深く根付いていることを肌で感じることができました。今回、フランスを代表するカルテットであるモディリアーニ・カルテットと来日するにあたっては、やはりフランスのレパートリーを主に、そして日本人としてフランス音楽の影響を強く受けている武満の作品を含むことにしました。

―― 演奏される楽曲について、どのような印象をお持ちでしょうか？

プログラムのメインとなるショーソンについてですが、ショーソンのヴァイオリン曲では主に《詩曲》が弾かれることが多いかと思います。私も《詩曲》には10代の頃から親しんできました。今回取り上げるヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のための《協奏曲》の存在を知ったのはパリに移った頃、20代のはじめで、そのドラマチックな構想と色彩感に触発されて、ずっと弾く機会を探してきました。実際に初めて演奏したのは2016年ゴラコケンハウス音楽祭で、その後モディリアーニ・カルテットと南仏の音楽祭で弾く機会を得ました。私はこの《協奏曲》の陰影に富んだパレット、時には薄灯に照らされて浮かび上がる光の反射、詩とメランコリーに魅力を感じています。

―― フランスと日本の文化が美しく混ざり合う公演になりそうですね。

ショーソンは元々作家志望で、画才もあり、色々迷った結果、最終的に作曲家となりました。彼の所有していた美術コレクションには仏印象派の画家は勿論の事、歌劇、春信、写楽などの浮世絵作家の名があり、ジャポニスムの影響の最中に生きていた事も驚い知れます。話はそれますが、パリの北にあるモネの家は庭の池も素晴らしいのですが、家の中の浮世絵の数には圧倒されます。壁という壁に浮世絵が飾ってあるのです。フランスにおける日本と日本文化への憧れは、今日においても根強く受け継がれています。

―― MEG関西版の読者へ一言お願いいたします。

住友生命いずみホールで、皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

◎Text／紅粉チコ


©Laura Stevens

9/21 THURSDAY【チケット発売中】
「庄司紗矢香＆モディリアーニ・カルテット＆ベンジャミン・グローヴナー」

◎曲目／武満 徹：妖精の距離、ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ 短調
ラヴェル：弦楽四重奏曲 ヘ長調
ショーソン：ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のための協奏曲 ニ長調 op.21
■会場／住友生命いずみホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥7,500 U-30¥2,500
■お問合せ／住友生命いずみホール チケットセンター TEL.06-6944-1188

SPECIAL INTERVIEW 04

サーカス CIRCUS

現在進行形のサーカスをまるごと堪能できるチャンス



1978年のデビュー以来、ハーモニーにこだわり続けて来たボーカルユニット、サーカスが結成45周年、現メンバー10周年を迎えた。満を持した関西ホールコンサートを、2023年9月にリニューアルオープンする神戸の新ランドマーク、神戸朝日ホールのこけら落し公演の一環として敢行。往年のヒット曲はもちろん、これまでのサーカスの軌跡を当時のレコーディング音源を駆使した新演出で構成。メンバー4人にその意気込みを聞いた。

―― 日本で初の男女2人ずつのボーカルグループ結成のきっかけは？

高:サーカスの前身となるグループがありまして、コーラスの好きな仲間でいろんな曲を歌っていたんです。名前も何もなかったんですが、レコードデビューが決まってから"サーカス"という名前を付けました。

正子:海外ではマンハッタントランスファーやABBAといったコーラス主体のユニットが注目を集めていた時代でしたから、男女2人ずつボーカルグループにしていこうというコンセプトは、私たちもレコード会社も共通して固まっていました。

高:初代サーカスのメンバーチェンジが何度かあって、いろんな方の加入を検討をしていたんですが、最終的に親族だけのメンバー構成に落ち着きました。その直後に「Mr.サマータイム」を出して、皆さんに知ってもらえるようになったという経緯です。

―― 親族ばかりの当時のメンバー編成になったことは、ご自身たちはどんな感じだったんですか？

高:僕の母が歌うことが大好きだった人で、親戚が集まったりした時には合唱して遊んでいましたから自然でしたね。祖父のお葬式で「アメリカン・フィーリング」を歌ってくれなんて頼まれたりするくらい、親族中が歌好きの家系みたいです。

勇一:僕だけが唯一親族ではないんですが、オーディションによって参加が決まってからも、他のみんな親族なんだということをあまり感じなかったですね。

ありさ:それがうちの親族の特徴かもしれません。みんなニュートラルな立場で物事を進めるので、親族とかそういうこだわりが希薄なのかもしれません。

高:新聞記者だった僕の父がそういう人でした。すべての人をフラットに見なさいという考え方だったので。

―― 今回はメンバーの他にピアノとマニュピレーターという構成になっていますね。

勇一:オリジナルのレコーディング音源と、生の演奏というスタイルになっています。

正子:この編成は、当時のレコーディング音源を持っている私たちだけか出来ないでしょ？やっぱりあの当時のあの音を求めてくださるお客さまも多いので、その音源と生演奏をコラボさせるスタイルになりました。

―― 神戸朝日ホールでのこけら落し公演の一環ということですが、神戸の印象をお聞かせください。

高:坂神淡路大震災以降、ずっと新神戸オリエンタル劇場で公演を続けていましたから、神戸には多くの思い入れがあります。

正子:私は公演の合間に南京町をぶらぶらするのがすごく好きです。横浜の中華街とはまた違った風情がありますね。

勇一:港町と山の風景が見事に同居しているのが印象的です。

ありさ:独特の雰囲気が神戸にありますね。ちょっとおしゃれな感じがする、大好きな街のひとつです。

―― 神戸朝日ホールの新たな門出でのコンサートですが、ぜひ意気込みを聞かせてください。

勇一:今までのファンの方はもちろん、初めての方も、あっと驚いていただける様なステージにします。

ありさ:私や勇一君も心からリスペクトしているサーカスのサウンドを、当時のオリジナルの音源を使いながら、一挙に歴史を音で辿っていくようなライブにしますので、どうぞ楽しんでください。

正子:サーカスって大人のグループというイメージを持ってくださってるのはとても嬉しいですが、実は意外に普段着のままの面白い音楽をやっているグループです。お客様とハーモニーで一体になれる演出もお楽しみに。

高:みんなが集まるサークルが、サーカスという名前の由来です。進化したサーカスのハーモニーを、新しくなった神戸朝日ホールで見て頂けるのを、楽しみにしています。

◎Interview&Text／石原 卓

11/19 SUNDAY【8/26〜チケット発売】
「サーカス 45th/10th Anniversary Concert TOKITooTO-時と音」

■会場／神戸朝日ホール ■開演／16:00
■料金（税込）／全席指定 ¥7,000
■お問合せ／ページワン TEL.06-6362-8122（火・木11:00〜16:00）



お問合せ SHIN ONGAKU 新音楽 **大阪新音** TEL06-6926-4888 〒530-0047大阪市北区西天満4-6-14 イーデザインビル201 (11:00~17:00 土日祝および7月から第1・第3月曜日休業) https://www.osaka-shinon.com/







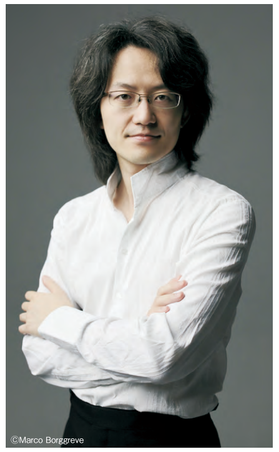




SPECIAL INTERVIEW 05

鈴木優人
Masato Suzuki
首席客演指揮者
就任披露記念演奏会

指揮者、鍵盤楽器奏者をはじめ、マルチな活動(ピコ太郎との共演は激アツ!)でクラシック音楽シーン盛り上げている鈴木優人が、関西フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者に就任する。就任披露演奏会について本人に話を聞いた。



―― 首席客演指揮者、就任おめでとうございます。関西フィルに初めて登場されたのは2019年6月の定期演奏会。この時、オール邦人プログラムを指揮されました。初めて関西フィルを指揮した印象を教えてください。

オーケストラメンバーのモチベーションが高いので驚きました。私の提案も、積極的に受け入れていただきましたし、しっかりフィードバックしてくださるのも嬉しかったです。オール邦人プログラムは首席指揮者 藤岡幸夫さんからの提案だったのですが、アニバーサリー・イヤーを迎えた黛敏郎、矢代秋雄、芥川也寸志という3人のレジェンド作曲家の作品を採り上げました。あまり馴染みの無いプログラムでしたが集客も上々、お客様の反応も良く、楽団とお客様の距離の近さを実感しました。

―― 関西フィルとは3度の顔合わせを経て、首席客演指揮者就任の運びとなりました。

2度目は、コロナ明け最初の演奏会で、予定していたブラームスの交響曲第2番をシューベルトの交響曲第5番に替えて演奏しました。久し振りにホール中に鳴り渡るオーケストラの響きに、お客様とメンバーに加え、ホールも喜んでいるように感じました。そして、昨年2月に、変更になったブラームスの2番を演奏したのですが、これが凄く良かったので、就任披露演奏会はブラームス交響曲第1番に決めました。3度の演奏会を通して、メンバーとは良好な関係を築く事が出来ました。

―― 10月の就任披露演奏会のプログラムについて教えてください。

メインは、ブラームスの交響曲第1番です。その上で、今後取り組むプログラムの縮図のようなモノをご披露出来ればと思って、バロック時代に活躍したラモーの「優雅のインドの国々」を最初に聴いていただきます。メリハリ良い曲で、自分の結婚式でも流したくらい好きな曲です。もう1曲は、ストラヴィンスキー「プルチネルラ」の全曲版。組曲版ではなく演奏機会の少ない全曲版を選んだのは、華やかな歌が添えられているからです。歌手は皆様もご存知のソプラノ森麻季さん、テノール鈴木准さん、バリトン加来徹さんにお願いしました。

―― 就任披露演奏会とは別に、今年の「第九」は鈴木さんの指揮ですね。

個人的に思い入れの強い「第九」を指揮させていただけるのは嬉しいです。私としては、就任披露演奏会と「第九」はセットという風に捉えています。オーケストラ同様に、とても気になっていた関西フィルの合唱団との初顔合わせが「第九」というのも楽しみです。しかも会場が音響に定評のあるザ・シンフォニーホール。オーケストラと合唱団で、力強い"フロイデ"を皆様にお届けいたします。

―― 最後に「MEG関西版」の読者にメッセージをお願いします。

これまで大阪で実現出来ていなかったことが、NGKに行けていないこと。実は、お笑いが大好きなのです。中川家がお気に入りで、昔なら、オール阪神・巨人。正統派のしゃべくり漫才が好きです。NGKに行けると思うだけで、ワクワクして来ます。これ、クラシックのコンサートも同じだと思うのです。私は今後、関西フィルのメンバーと幅広いレパートリーを演奏し、メンバーの持っている音色を最大限に引き出し、素敵な音楽を作っていきます。演奏会はNGK同様に、皆様に元気と感動を与える場です。ぜひ、コンサートホールにお越しください。皆様のご来場をお待ちしています。

◎Interview&Text／磯島浩彰

10/20 FRIDAY【チケット発売中】
「鈴木優人 首席客演指揮者 就任披露記念演奏会」
■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定 S¥6,500 A¥5,000 B¥3,500 C¥2,500
学生席(25歳以下)¥1,000
■お問合せ／関西フィルハーモニー管弦楽団事務局 TEL.06-6115-9911
(月-金10:00~17:00、土10:00~16:00日祝は休業)

SPECIAL INTERVIEW 06

神尾真由子
Mayuko Kamio
関西"初演"の現代ヴァイオリン・コンチェルト登場

日本センチュリー交響楽団「第275回定期」は飯森範親の指揮で現代音楽の世界へと誘うプログラム。注目はこの分野への意欲的なとり組みにも定評がある、神尾真由子をソリストに迎えたヴィトマンのヴァイオリン協奏曲。

―― ファンにはすっかりお馴染みのゲストですね。

飯森さんとは10代の頃から共演させていただいております。また日本センチュリー交響楽団の皆さんとも、もう数え切れないほどご一緒していますね…やはり私の地元である豊中市を拠点に活動されているので、親近感があります。

―― ヴィトマンのヴァイオリン協奏曲 第1番は、とにかく凄まじい超絶技巧が要求される難解な曲というイメージですが、3月に飯森さん&パシフィックフィルハーモニア東京(PPT)との日本初演で大成功を収められて、9月の関西初演への期待も凄く高まっております。

速すぎて指の数が全然足りないと感じるし、聴き慣れない音ばかりですので本当に難曲です。未だに少しでも油断すると、一瞬で不協和音の森を彷徨うヘンゼルとグレーテルのような迷子になってしまう(笑)ので、とにかく30分間"全集中"で弾きます。3月にPPTの皆さんと初演した時よりも、更に精度をあげて弾けるよう努力いたします!

―― リゲティをはじめ現代音楽にも積極果敢に挑み、これまでに数えられないほどの曲を演奏してきた神尾さんにとって、現代音楽を演奏する楽しみとは?

やはり現代音楽に明るい飯森さんのサポートがあってこそ、だと思います。2019年にいずみシンフォニエッタ大阪の皆さんとリゲティの協奏曲をとりあげた時も、明快での確な指揮はもちろんのこと、事前にご自宅で練習に付き合ってくださったりする熱心さにも感銘を受けました。今回のヴィトマンでも2回うちに来てくださったんですよ!

―― これまでに何度もザ・シンフォニーホールのステージに立っていらっしゃると思いますが、改めてこのホールの魅力は?

1982年に開館したので私より4つだけ歳上のホールですね。カラヤンを始めとする多くのレジェンド音楽家が立った舞台ですので、独特の雰囲気を感じます。もちろん音響の素晴らしさは日本においても最高の環境だと思います。

―― 演奏会だけでなく、大学などで教える仕事にお子さんの世話…と超多忙な毎日に加えてこの殺人的な猛暑ですが、この夏を乗り切る、神尾さんとっておきの秘訣があれば教えて下さい!

生徒の指導にも時間を費やしているので、本当に毎日がスケジュールギリギリなんです。秘訣は、疲れた夏に頑張って身体を動かして忙しくすること…疲れたからといってゆっくりしていたら、気が緩んで病気になってしまうんです。私だけの秘訣なので皆さんは真似しない方が…(笑)。

―― 公演を楽しみにしております。

定番の名曲はもちろん素晴らしいものです。でも、いつも同じものばかりを味わっていては世界が広がりません。今回のプログラムはあまり馴染みのない作品ばかりかと思いますが、皆さんが難しそうだなと感じないように頑張って演奏しますので、ぜひ新しい体験をするためにザ・シンフォニーホールにいらしてください!!

◎Interview&Text／東端哲也

9/22 FRIDAY【チケット発売中】
「日本センチュリー交響楽団 第275回定期演奏会」
■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定 A¥6,500 B¥5,000 C¥3,500
DVT-59Q(完売)
■お問合せ／センチュリーチケットサービス
TEL.06-6848-3311(平日10:00~18:00)





REPORT

Kobe Jazz Centennial
李 祥太 Shota Lee
日本のジャズ発祥の地神戸で祝う
100周年の一日限りの秋日和なフェス!

1923年、日本で初めてプロのバンドがジャズを演奏したのが神戸。そこで今年100周年を迎え、企画されたのが「Kobe Jazz Centennial」。港町・神戸を舞台に開催されるジャズフェスティバルについて、旧居留地にある高砂ビルでジャズを中心としたライブスペースを運営し、自らもピアニストである、実行委員の李 祥太さんに話を聞いた。

―― 神戸のジャズ100周年ということですが。

宝塚少女歌劇団オーケストラ出身のバイオリン奏者・井田一郎さん率いる"ラフィング・スターズ"というバンドが、建物こそ何度か建て替わっていますが、今も旧居留地にある「オリエンタルホテル」で、1923年に日本で初めてジャズを演奏したという記録が残っていまして、そこから100年にあたる今年が神戸のジャズ発祥100周年のメモリアルイヤーとなっています。

―― 今回の「Kobe Jazz Centennial」はどんな経緯で企画されたのですか?

普段よりジャズをメインとしたライブスペース「100BANホール」を運営していることから、昨年の夏ごろに神戸市や神戸市民文化振興財団の方から「ジャズ100周年にあたって何かできないか?」という相談を受けて以来、様々なアイデアが出・意見交換をしてきました。その中で共有されたのは、100年続いた神戸のジャズもこのままでは先細りしていくのではないかという危機感と、この状況を変えるため、ジャズ100周年の今年はジャズの裾野を広げる活動をしないといけない、というミッションでした。100周年の施策の一つであるこのKobe Jazz Centennialも同じミッションのもと、既存のジャズファンはもちろんですが、普段ジャズに接点がない方々や、ご家族連れなど行きたくても行けない方々に広く観んで頂けるジャズのイベントを、ということで、街中で気軽に楽しめる無料型のジャズフェスティバルとして企画しました。

―― 具体的な内容は?

旧居留地界隈を中心に、徒歩圏内に6つのステージを設置します。今年4月にリニューアルされた東遊園地にはメインステージを設置し、ニューヨーク拠点の世界的トランペッター・黒田卓也さんや日本随一のサックス奏者・吉本章紘さん、若手注目株のドラマー・中村海斗さん、そして神戸で活躍するミュージシャンで編成した「Kobe Centennial Jazz Orchestra」らのプロミュージシャンが出演します。また三井住友銀行前の広場は「ビッグバンドステージ」、朝日ビル1階は25歳以下に限定した「U-25チャレンジステージ」、大丸横の明石町筋と神戸国際会館サンクンガーデンは「アコースティックステージ」、劇場型アクアリウム「atoa(アトア)」近くの海辺には「ダイバーシティステージ」といった具合に、テーマを持ったまちなかステージを設置。ここには約150組の応募団体の中から選出された37組のバンドが出演します。全て入場無料ですので、お目当ての出演者やお好きなジャンルをチェックしてハシゴして頂くのも良いですし、たまたま通りがかった方がジャズに出くわすという状況が生まれたら企画者としては嬉しいですね。また、東遊園地では神戸らしい飲食ブースも設けようと思っていますので、食べながら、飲みながら、おしゃべりしながら、この日は一日ピクニック気分でジャズを楽しんでいただければと思います。

◎Interview&Text／仲谷暢之(アラスカ社)

10/22 SUNDAY【チケットレス】
「Kobe Jazz Centennial」
◎出演／黒田卓也、吉本章紘、中村海斗、Kobe Centennial Jazz Orchestra
一般公募バンドほか
■会場／東遊園地をメインとした計6ヶ所の街中ステージ
■時間／10:00~17:40 ■料金／入場無料

SPECIAL INTERVIEW 07

挾間美帆
Miho Hazama
挾間美帆、自身のバンド「m_unit」を率いての全国ツアー

世界を飛び回って大活躍するジャズ作曲家、挾間美帆が、自身のバンド「m_unit」を率いての全国ツアーを行う。9月15日から30日まで、大阪府東大阪市を含む全国7会場でのホール・コンサートだ。ニューヨークの挾間美帆に、コンサートへの意気込みを語ってもらった。

―― 挾間さんのバンド「m_unit」は、2012年のデビュー作「Journey to Journey」以来、10年以上続いていますね。総勢13人で、弦楽器が4人いるバンドというのは珍しいですよね。

ニューヨークの大学院の卒業リサイタルのときに、自分のアイデンティティとなるバンドで演奏してみたい、と思って作ったのがm_unitです。私の頭の中では常に弦楽器が鳴っているので、ビッグバンドではないな、と。私は11月13日生まれなので、11人か13人で自分がやりたいことができる楽器編成にしようと思ったんです(笑)。

―― 管楽器の選び方ですが、トランペット1、フレンチ・ホルン1、リード楽器3という編成がおもしろいと思うんです。

高校生のときにひたすら聴いていた、マイケル・ブレッカーの「ワイド・アングルス」の影響はありますね。金管楽器中心ではない、管と弦の両方が入ったサウンドでやりたい、と思ったんです。フルートやクラリネット、バスクラリネットが出来るサックス奏者を選べばサウンドの幅も音域の幅も広がりますし、トロンボーンよりもフレンチ・ホルンの方が、弦楽器と一緒にやっても自然ですし、いろいろな楽器との架け橋になってくれますね。

―― m_unitの新作「ビヨンド・オービット」が9月13日に発売されますね。「軌道の向こうに」というタイトルにはどういう意図が込められていますか?

現在の等身大の自分を表現して、さらに次に行きたい、という意味で"ビヨンド"をタイトルに入れたかったんですね。そしてこのアルバムには、モントレー・ジャズ・フェスティヴァル委嘱作品の(エソプラネット組曲)という、とても思い入れのある組曲が入っていまして、そのパート1が「楕円軌道」という意味の(エリプティカル・オービット)というタイトルなので、その2つを組み合わせました。

―― この組曲は、パート1ではゲストのクリスチャン・マクブライドの素晴らしいベースが聴けますね。そして静かなパート2を経て、精緻に書き込まれた圧倒的なパート3へ、という展開が聴きものです。さて、m_unitのコンサートは、どのあたりに注目して聴くとより楽しめるのでしょうか?

音色の色彩感、カラフルさに注目していただけると、より楽しめると思います。

―― 個人的には、事前にアルバムを聴いて予習してから行くのがいいかな、と。

実際に目で見ていただくと、ここはこうやっているのか、という答え合わせも出来ますしね(笑)。

―― レコーディングはニューヨークのm_unitで、ツアーは日本のm_unitですよね。コンサートに向けてのみなさんの準備はどうですか?

メンバーにはすでに譜面を送ってありますが、練習しているのか途方にくれているのか(笑)。でもメンバーの多くが長い間一緒にやっている人たちで、とても信頼している方々なんです。皆がどんな演奏をするのか、どんなソロを吹いてくれるのか、本当に楽しみです。

―― CDとはまた違った演奏が聴けるコンサートになりますね。楽しみにしています!

◎Interview&Text／村井康司

9/30 SATURDAY【チケット発売中】
デビュー10周年 & "ビヨンド・オービット"発売記念
「挾間美帆 m_unit 日本ツアー 2023」
■会場／東大阪文化創造館 Dream House 大ホール ■開演／17:00
■料金(税込)／SY6,600 AY5,500
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888



◎最新アルバム
9/13(水)ON SALE
「ビヨンド・オービット」
¥3,300(tax in)
UCCJ-k2226 SHM-CD
ユニバーサル ミュージック



2023年9月・10月 京都南座 公演のご案内

9月 3日(日)初日～24日(日)千穐楽



大好評発売中！ ― ご予約は電話・Webでお早めに！ ―



九月花形歌舞伎

中国四大奇書のひとつ「水滸伝」を下敷きに誕生した『新・水滸伝』。息つく暇なしのスピード感あふれる展開で、好評を博した本作が、次代を担う、瑞々しい花形俳優の共演で、装いも新たに南座初登場！宙乗り あり！ 立廻り あり!! 歌舞伎の魅力満載、壮大なスケールで描く痛快娯楽大作にどうぞご期待ください!!!

あらすじ

時は十二世紀初頭、中国・北宋の国。天下一の悪党・林冲は、数多の罪で牢に繋がれていたが、悪党を束ね、梁山泊に根城を構える晁蓋が噂を聞きつけ、腹心の公孫勝に林冲を助け出させる。しかし、林冲はお役ご免とそりが合わず、酒浸りの日々。そこへ、隣町・独龍岡の若き跡取りが攻撃を仕掛けてくる。その背後には、朝廷の重臣である高俅率いる屈強の朝廷軍が控えていた。梁山泊の猛者たちが闘いに繰り出す中、林冲は我関せず。林冲が兵学校の教官をしていた時の教え子で、今は朝廷軍の兵士となった彭玘が密かに、林冲から授けられた「替天行道」の書を捧げて下山を迫るが、それも林冲は邪険に扱う。

一方、朝廷軍は目障りな林冲と梁山泊もろとも踏みつぶそうと目論んでいて――。

9月 3日 4月 5火 6水 7木 8金 9土 10日 11月 12火 13水 14木 15金 16土 17日 18月祝 19火 20水 21木 22金 23土祝 24日
11:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 休 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 演
15:30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 演 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 演

ご観劇料(税込) 特別席 16,000円 / 一等席 15,000円 / 二等席 8,000円 / 三等席 5,000円

10月 3日(火)初日～29日(日)千穐楽



上方喜劇の道を女優として真摯にひた走る**藤山直美**。そしてこの度は歌舞伎界から**中村隼人**、**中村扇雀**を迎え、さらに数々の作品で藤山直美と共演を重ねてきた**田村亮**、**大津嶺子**らが顔をそろえ、これまでにない清新な顔合わせで、上方喜劇の名作を色濃く描きます。藤山直美は「上方喜劇のルーツは上方歌舞伎。この面々にご出演いただいて、何の違和感もないというのが、生きた証明になるんだと思っています。皆様に喜んでいただける公演になるよう、お役を勤めさせていただきます」と意気込みを語りました。

錦秋の京都を賑やかに彩る 笑いと涙の上方喜劇公演！

あらすじ

一、唄
舞妓清香と恋仲で、仕事はそっちのけで、お茶屋で遊びほうけています。心配した竹田屋分家の若旦那・卯三郎は、利兵衛を迎えに茶屋まで行きますが、「清香と夫婦になれるなら、家に帰って一生懸命働く」と決意は揺るがない様子。しまいに、根は遊び好きの卯三郎は酒を勧められてしまい……。

竹田屋分家若旦那 **中村 隼人**
竹田屋本家若旦那 **中村 扇雀**

二、祇園小唄
薬問屋「竹田屋」の本家の跡取り息子・利兵衛は、数年前に家を飛び出したまま。利兵衛の母・千代子は、行方知れずの息子を案じる日々。ある日、千代子の妹・亮平の娘・清香が、利兵衛の幼なじみ・大津嶺子を連れて、千代子の元を訪ねてきて――。

千代子 **藤山 直美**
亮平 **田村 亮**
清香 **大津 嶺子**
利兵衛 **中村 扇雀**

三、大阪ぎらい物語
主人亡き後、船場で老舗の木綿問屋を営むおしず。商売も繁盛し順風満帆に見えますが、気がかりなのは二人の子どものこと。弱気な長男・新太郎と、異母姉妹のおとみにくらべ、優しいけれどちょっと変わった妹の千代子。ある日千代の秀吉に恋をし、結婚したいと言い出した千代子に、おしずは猛反対しますが、果たして千代子の恋の行方は……。

長男 **中村 鷹治郎**
おとみ **中村 扇雀**
島之内の姉 **大津 嶺子**
叔父 **田村 亮**
河内屋御寮さん **藤山 直美**

9月9日(土)午前10時 電話・Web受付開始！ 【窓口販売・切符のお引取りは9月11日(月)より】 窓口販売用別枠でのお取置きはございません。



10月 3火 4水 5木 6金 7土 8日 9月祝 10火 11水 12木 13金 14土 15日 16月 17火 18水 19木 20金 21土 22日 23月祝 24火 25水 26木 27金 28土 29日
昼の部 11時 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 休 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 演
夜の部 16時 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 演 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 演

ご観劇料(税込) 特別席 14,000円 / 一等席 13,000円 / 二等席 8,000円 / 三等席 4,000円

京都 四條 南座
〒605-0075 京都市東山区四条大橋東詰 電話 075-561-1155
松竹ホームページ https://www.shochiku.co.jp
歌舞伎美人(かぶきびと) https://www.kabuki-bito.jp

チケットホン松竹 (10:00～17:00) 0570-000-489 または 06-6530-0333
チケットWeb松竹 (24時間受付・受付初日は10:00より) チケットWeb松竹のお問い合わせは ☎03-3545-2200 (10:00～17:00)
チケット Web 松竹

チケットぴあ ぴあ 南座 Pコード:「新・水滸伝」519-421「錦秋喜劇特別公演」519-422 w.pia.jp/t/minamiza/
ローソンチケット ローチケ 南座 Lコード:「新・水滸伝」56995「錦秋喜劇特別公演」56996 l-tike.com/minamiza/
イープラス e+ 南座 取り扱い公演はHPをご確認ください。 eplus.jp/minamiza/
団体のお申し込みお問い合わせは 075-561-1155 (販売営業)まで
前売券取扱所：南座・大阪松竹座・歌舞伎座・新橋演舞場

REPORT 第1回東大阪市オリジナル市民ミュージカル

「100-ONE hundred」

Koji Tokuo
徳尾浩司
Akira Miyagawa
宮川彬良
Hiromi Sakamoto
阪本洋三


◎左から阪本洋三、宮川彬良、徳尾浩司

人気脚本家と才能あふれる作曲家、経験豊富なプロデューサー＆演出家が東大阪市民と一緒にミュージカルを作った!?

東大阪市文化創造館ではこの秋、市民参加型の文化芸術事業（主催事業）として第1回 東大阪市オリジナル市民ミュージカル「100－ONE hundred」を実施する。東大阪のモノづくりへの思いや名所旧跡などをたっぷり織り込んだ物語を、プロではなくオーディションで選ばれた市民が演じるという野心的なプロジェクトだ。

参加するクリエイターは、脚本に「おっさんずラブ」の徳尾浩司、作曲は「マツケンサンバII」で大ブレイク、さまざまなジャンルの音楽を作り続ける宮川彬良、企画・演出はNHK朝ドラや国際的な文化交流事業を数多く手掛けてきた阪本洋三という、第一線で活躍中のプロフェッショナルたち。この3人が東大阪市文化創造館との関わりや作品に込めた思いを語った。

―― プロジェクトに参加することになったきっかけは？

阪本：この施設が完成する前からここをどういう場所にするのかを考えるメンバーの1人として参加しておりました。今回私が目指しているのは、市民の方が自分たちの日常、暮らし、生き様を演劇にして社会と向き合い、日常がどれだけ大切かを考えられるような舞台にしていきたいということ。また、東大阪の文化として「挑戦する人」「新しいものを作る人」が多いですよね。それもキャラクターを通して伝えていければと思っています。

―― 徳尾さん、宮川さんに声をかけた理由は？

阪本：見ていただドラマ「おっさんずラブ」が本当におもしろくて。流行っているドラマを書いている人に東大阪に来てもらい、一緒に作品を考えることができたら良いな、と。

徳尾：僕は堺市出身なので、大阪で青春時代を過ごしたこともあり「これは面白いのでは?」と勘を頼りに東大阪へ来ました。

阪本：宮川さんは、私が学生時代に振付を手伝った松竹歌劇団の舞台で音楽監督を担当されていたんです。ほぼ同い年なのに才能が豊かで、いつか仕事が出来たらいいなと。

宮川：今回のお話は「これは自分がやるべきだ」と反射的に感じたんです。近畿大学吹奏楽部（所在地:東大阪）を教えていたこともあったので、小さなご縁が集積して「あ、これは何かあるな」と感じました。

―― 出演者はどんな人たちなのでしょうか。

阪本：オーディションで選ばれた参加者が62名、最年少は9歳で最高齢が80歳です。東大阪市内の方が38名、市外は24名です。男性は15名、女性は47名、平気年齢は41歳です。皆さんは本当に熱意がすごい。人情味にあふれていてノリがいいです。

―― 物語はどのように作っていったのですか？映画監督になりたい青年が夢を半ばあきらめて東大阪に戻り、100年前にタイムスリップする壮大な物語ですが…。

徳尾：ファンタジーであり、ロマンチックコメディですね。東大阪ではこの5年間で、旧生駒トンネルや金網工場、映画撮影所の跡地などいろいろな場所を取材しました。100年前、映画が盛んに作られていた東大阪の撮影所に主人公が行くとどう思う?女優さんに会ったら?金網工場での取材では、工場のにおいや機械の古さ、苦労話や価格値下げへの葛藤など、行かないとわからないことばかり。それに、100年前はスペイン風邪が流行っていて今と同じようなことで悩んでいたこともあり、当時と今を行き来する、未来にもつながる物語を作ったら面白いのではと。この先は、今回使わなかったパートを加えて、サグラダファミリアのように「終わらないミュージカル」になるといいですよね。

―― 音楽はどのような曲調ですか？

この日は実際に稽古中の出演者が2曲を披露した。

宮川：全部で15曲くらいになりそうです。曲調はファンキーと言えばよいのかな。河内音頭もファンキーじゃないですか。

徳尾：そうですよね。ファンキーな大阪らしさは大事にしたいと思っているので笑って観られるポップなミュージカルになれば。

宮川：曲作りは現在まだ一合目付近。でも、自分でなければ、東大阪でなければ、このメンバーでなければできないものが出来あがるな、という気がしています。

◎Interview&Text／田村のりこ

11/26 SUNDAY【チケット発売中】
第1回東大阪市オリジナル市民ミュージカル「100－ONE hundred」
■会場／東大阪市文化創造館 Dream House 大ホール ■開演／14:00
■料金（税込）／一般[SW3,500 AW2,500 高校生以下1,000
[車椅子・介助者席]一般¥2,000 高校生以下¥500
■お問合せ／東大阪市文化創造館 TEL06-4307-5772(9:00～20:00 第2火曜休館)

REPORT 錦秋喜劇特別公演

藤山直美×中村鴈治郎×中村扇雀×田村亮

この秋、京都・南座で上方喜劇と歌舞伎のコラボが実現！

10月の南座は「錦秋喜劇特別公演」。女優として円熟味増す藤山直美を中心に、歌舞伎界から中村鴈治郎、中村扇雀を迎え、さらに数々の作品で藤山直美と共演を重ねてきた田村亮、大津嶺子らが出演し、これまでにない顔合わせで、上方喜劇の名作「祇園小唄」と「大阪ぎらい物語」を上演する。

―― 公演が決まっての印象をお聞かせください。

藤山：「藤山寅美三十三回忌追善喜劇特別公演」（2022年）の時に、「上方喜劇は上方歌舞伎の流れを汲んでいます。上方歌舞伎の方が出ても成立すると言ってもらうのが上方喜劇です。そこに違和感があったら上方喜劇としては成立しません」とご挨拶したのですが、しなかったよかったです（笑）。まさか松竹の方が「そしたら1回、合体させてみたらどうや」とおっしゃるとは…。上方歌舞伎の成駒家さんのお二人とご縁をつないでくださって、そして阪東妻三郎先生の息子さんであられる田村亮さんも出ていただいて、本当に嬉しく思います。皆での共演が何の違和感もないというのが、生きた証明ではないかなと思っています。

鴈治郎：去年の5月に大阪松竹座で「大阪ぎらい物語」を拝見させていただきました。ひとり泣いていましたけど、笑わせてもいただいていい気分になって、まさかその芝居に出させていただくことになるとは思わなかった。だから嬉しいし、いいものにしたいなと思います。

扇雀：この「錦秋喜劇特別公演」を観た方に「来年もありますね？」と言われるものになったらと思っています。毎年10月は成駒家と藤山直美さんで必ず開く公演になるのではないかと勝手に想像しました。そのぐらい楽しみです。

田村：「大阪ぎらい物語」は、とても評判がよくて。僕もお客さんに混じって3回、観ています。今回演じる千代子の叔父・忠平は初役でございます。皆さんの足手まといにならないように一生懸命頑張りたいと思います。10月の京都も美味しいものばっかりですごくいいと思いますので、そちらも楽しみにしています。

―― 「祇園小唄」では、鴈治郎さんと扇雀さんがそれぞれ若旦那の役で共演されますね。

鴈治郎：扇雀と二人で歌舞伎以外の芝居をやるのは初めてで、私のやらせていただく役（卯三郎）は藤山寅美先生もやっていらっしゃって。先生は二枚目なんですよね。あれが私にはできない（笑）。どんなふうになるのか分かりませんけども、扇雀と二人で作っていくということでドキドキもあります。

扇雀：「祇園小唄」では、祇園のお茶屋に入り浸っている役どころです。祇園で遊んでいるという人物像をお芝居でもきちっと作りたいなと思っています。

―― 最後に改めて意気込みをお願いします。

直美：鴈治郎さんと扇雀さんと、いつもお力添えをいただき、助けていただいている田村亮さんと10月の南座に立たせていただきますことに感謝いたしております。大津嶺子さんや歌舞伎のお弟子さん方ともご一緒に、お客様に喜んでいただけるお芝居を勤めさせていただきます。

◎Text／岩本和子

10/3 TUESDAY～29 SUNDAY【9/9(土)～チケット発売】
「錦秋喜劇特別公演」
■会場／南座
■開演／「昼の部」11:00 「夜の部」16:00※10月10日・16日・23日は休演日
■料金（税込）／1等席¥13,000 2等席¥8,000
3等席¥4,000 特別席¥14,000
■お問合せ／チケットホン松竹 TEL.0570-000-489



SPECIAL INTERVIEW 08

吉田簑紫郎 Minoshiro Yoshida

文楽のこれからを、次世代の若手たちが見せ、演じ、語ってくれる

フェニーチェ堺で年に一回開催されている、文楽の次世代を担う若手たちを中心に演じられる「ワカテ de ワカルフェニーチェ文楽」。4回目は罪人となった息子と父親と、息子の嫁とのつかの間の情愛を描いた「傾城恋飛脚」より「新口村の段」。今回、1回目から出演し、企画面でも携わり続けている吉田簑紫郎に話を聞いた。

―― 演目について教えていただけますか？

今の奈良県橿原市あたり、新口村（にのくちむら）が舞台なんですが、この物語の主人公、忠兵衛の生まれ故郷です。そこへ遊女・梅川と逃り着くところから始まります。彼は飛脚屋の養子なんですが、梅川と出会ったことがきっかけで、店のお金に手をつけてしまい、さらに捕まれば死罪となる大事件を起こし、逃避行するという話。そこに絡んでくるのが孫右衛門。罪人となった息子を案じる父親です。前半は忠兵衛と梅川のやりとり、後半は父・孫右衛門と息子の嫁となるであろう梅川、そして忠兵衛のとのやりとりが情感たっぷりに展開される、いわゆる"世話物"と呼ばれる演目です。

―― 4回目となりますが、演目の選び方は？

実は演目のチョイスやこの会の様々なことにも僕が関わらせていただいてるんですが、基本、若手の人形遣いというのはなかなか配役が回ってこなくて、活躍できる場が本当に少ないんですね。そういう意味で、この会ではお客様に楽しんで喜んでいただくのが、まず前提ですが、若い演者たち自身も文楽ってやっぱりいいもんだなと、再確認する場を設けてあげたいということで、「これぐらいの演目やったらいけるやろ」というものではなく、ハードルを上げることによって、難しいことを早いうちに経験し、奮起してほしいという期待を自分自身にも込めて選んでいます。そういう意味で今回の新口村の段は、一当時実際に起こったことを物語に取り入れたものを"世話物"と呼ぶんですが―、その登場人物の背景、設定、考えをどれだけ自分の中で吸収して納得し、作って演じるかが試されるので難しいんです。"世話物"はある程度、型が決まってるけれども、逆に浄瑠璃と人形の芝居の"間"にアドリブ的なところもできたりする。特にこの演目では親子の情愛の機微がそうだったり…。この会では演者にそういった機会を経験してもらいたいし、お客さんにも感じていただけたらと思っています。あと、4回目にして初めてチラシ裏面に人形小割帳（人形遣いの主遣い、左遣い、足遣いと役割を記したもの）を写真入りで載せていただいたのも、若手が演じていることを知っていただくのはもちろんですが、本人たちも演じることへの責任感をしっかり感じてほしいという気持ちもありました。

―― 簑紫郎さんは今回、父親・孫右衛門を演じますが意気込みは？

これまで自分が見てきた、先輩がやられてきた孫右衛門を思い出しながら、父親の息子に対する掻るぎない愛情や梅川に対するやりとりなどを一旦引き頃して、再構築しようと思っています。梅川は何度か演らせていただいているので、その時に役に対してこうしてもらいたかったということを思い出して、今回、梅川を演じる弟弟子の吉田簑悠からも相談を受けながら、どう気持ちのキャッチボールができるかを一緒に学びつつ、演じたいと思っています。

◎Interview＆Text＆Photo／仲谷暢之（アラスカ社）



9/28 THURDAY【チケット発売中】
ワカテ de ワカル フェニーチェ文楽 vol.4
人形浄瑠璃文楽「傾城恋飛脚」新口村の段
◆ワカル文楽 ～文楽大道具の魅力
◆次代の担い手」ワカテ囲談
■会場／フェニーチェ堺
■開演／「午前の部」11:00 「午後の部」15:00
■料金（税込）／全席指定 ¥3,000
■お問合せ／フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）TEL.072-223-1000

SPECIAL INTERVIEW 09 Ariane Mnouchkine

アリアーヌ・ムヌーシュキン

夢の日本を舞台にした、ハレとケが混在する奇跡の舞台がついに京都で初公演！

2019年、京都賞受賞した世界的演出家、アリアーヌ・ムヌーシュキンが率いる太陽劇団が総勢60名を引き連れ、22年ぶりの来日公演を果たす。ムヌーシュキンが1963年に来日して以来、リスペクトを惜しまない日本文化へのオマージュを込めた新作演劇「金夢島」が遂に京都で公演されるということで、彼女に話を聞いた。

―― 「金夢島」というタイトルの由来は？

この劇はヒロインの夢の物語ですから、最初から存在しない島の名前をつけたかった。そしてグラフィック的に3つの漢字、さらに日本語としてもフランス語としても響きが美しいものにしたくて考えて生まれたのが今回のタイトルでした。

―― 今回初めての京都公演ですが。

東京ほど頻繁には訪れていませんが、京都というのは訪れるたびに感嘆させてくれる場所です。そんな場所に再び行けて、美しさの中心に居られるのだなと嬉しい気持ちです。何よりそんな京都で初めて公演できるのがいまだに信じられません。また私たちが一番必要としていた時に京都賞をいただき、それが結果「金夢島」が劇として生まれた要因の一つであることにも感謝しています。今回の京都公演は若い人にも見に来て欲しいです。まずは劇場に来てください！そして試してください！きっと気に入って、笑って感動してくれると思います。

◎Interview&Text／仲谷暢之（アラスカ社）

11/4 SATURDAY・5 SUNDAY【チケット発売中】
太陽劇団 テアトル・デュ・ソレイユ
「金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima」
■会場／ロームシアター京都メインホール ■開演／14:00
■料金（税込）／S¥8,000 A¥6,000 ユース(25歳以下)¥4,000
18歳以下無料（※要申込）
■お問合せ／ロームシアター京都 チケットカウンター TEL.075-746-3201
◎10月20日(金)～26日(木)東京公演あり

©Archives Théâtre du Soleil

チケットぴあ Special Selection

チケットぴあは音楽、スポーツ、演劇など、あらゆる催し物のチケットを販売しております。
その中でも、今、ぴあがイチオシするエンタテインメントを厳選してピックアップ！今号は、劇団☆新感線 43周年興行・秋公演 いのうえ歌舞伎『天號星』取材会レポートと、ミュージカル『生きる』の制作発表レポートをお届けします。

2023年 劇団☆新感線 43周年興行・秋公演 いのうえ歌舞伎『天號星』

古田×早乙女兄弟で魅せるチャンバラ時代劇



「新感線として久しぶりにチャンバラが見せ場のスカッとする芝居に」と、演出のいのうえひでのりが語る劇団☆新感線“いのうえ歌舞伎”の最新作『天號星（てんごうせい）』。舞台は元禄・大江戸。表の顔は口入れ屋・藤壺屋の主人、裏では世のため人のために悪党を始末する“引導屋”の元締め・半兵衛（古田新太）と、半兵衛の命を狙う冷酷無比なはぐれ殺し屋・銀次（早乙女太一）が、雷の直撃で中身が入れ替わってしまう。そこへ、銀次の宿敵、人斬り朝吉（早乙女友貴）がやってきて…。“入れ替わり”のドタバタの中で繰り広げられるチャンバラ時代劇だ。

注目は早乙女兄弟。これまで新感線に何度も登場しているふたりだが、兄弟揃って古田と共演するのは今回が初めて。「僕たち兄弟は新感線に憧れ、古田さんの映像を見ながら殺陣を学んできたので、ふたりで出られることはすごくうれしい」と、『けむりの軍団』以来4年ぶりに古田と2回目の刃を交わす太一。今回は古田と入れ替わるため「古田さんになり切れるよう毎日飲んだくれてる日々です（笑）」。

ナマった体になった銀次、動ける体を持った半兵衛。その戦いは太一にとって「すごく楽しい」が、古田にとっては「めちゃくちゃしんどい！ほんとイヤです」と吠える。しかし「早乙女兄弟の戦いや、ちーちゃん（山本千尋）の中国武術をそばで見られるのはアクション好きとして非常に楽しみ」。さらに半兵衛の娘役となる山本と久保史緒里から「公演後“おとっつぁん”と呼んでもらえたらうれしい」とも。山本はアクロバティックな立ち回りで魅せ、久保は歌って踊る“巫女”を演じ、「あまり乃木坂では歌ったことのない歌を歌うシーンも」（いのうえ）。

作品は“池波正太郎テイスト”とあるが、池波ファンの古田は「全然、池波正太郎じゃない！　テレビの『必殺』シリーズ、そのオマージュです」とわかりやすくバッサリ。「時代劇を知らない人も絶対に楽しめます。東京で進化させて大阪に乗り込んで来るので、ぜひお待ちください！」と太一が締めた。

取材・文／高橋晴代　撮影／福家信哉

■11月1日(水)～20日(月)
COOL JAPAN PARK OSAKA WWホール
■全席指定-14800円
ヤングチケット-2200円(来場時に22歳以下／当日引換)
【作】中島かずき　【演出】いのうえひでのり
【出演】古田新太　早乙女太一　早乙女友貴
久保史緒里　高田聖子　粟根まこと　山本千尋
池田成志　他

MEG読者限定先行予約受付！
受付日時　9月6日(水) 23:59まで受付中
受付URL　https://pia.jp/v/tengohsei23meg/

11月	1	2	3	4	5	6	7
	水	木	金	土	日	月	火
12:30	○	休	○	○	○	○	休
18:30		演		○			演

11月	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
12:30	○	○	○	○	○	○	休	○	○	○	○	○	○
18:30					○		演					○	

※車いす席をご利用のお客様はチケットをご購入の上、事前にキョードーインフォメーション0570-200-888にご連絡ください。2枚以上でご購入されたお客様は、状況によっては連席でご案内できない場合がございます。

一般発売日　9/18(月・祝)

Daiwa House presents ミュージカル『生きる』

市村正親・鹿賀丈史主演で贈る感動の舞台、再び！



黒澤明監督の映画を原作にしたミュージカル『生きる』が3年ぶりに上演される。1952年に発表された映画「生きる」は、定年を間近にした平凡な男・渡辺勘治が、病で死を目前にしながら、最後に見つけた夢を実現するために残りの人生を生き抜く姿を描いた作品で、2022年にイギリスで再映画化もされた。本ミュージカルは、2018年にジェイソン・ハウランドが作曲・編曲、高橋知伽江が脚本・歌詞、宮本亞門が演出、市村正親・鹿賀丈史（Wキャスト）が主演という盤石の布陣で初演されたもので、2020年にはブラッシュアップした演出で再演、今回は3度目の上演となる。渡辺勘治は引き続き市村と鹿賀が、勘治の息子・光男は再演に続き村井良大が演じるほか、平方元基と上原理生（Wキャスト）、高野菜々（音楽座ミュージカル）、実咲凛音、福井晶一、そして鶴見辰吾という新しい顔ぶれが揃う。

6月に開かれた制作発表では、演出の宮本が「次の未来へ向けて、何を大切に、何を軸に生きていくか、そんなテーマも入っている作品です」とコメントを寄せると、鹿賀も「初演から5年の間にずいぶん変化があり、我々は今、どうやって生きようかとか、この物価高をどうやって乗り切ろうかとか、直面する“生きる”ということに戸惑っている時期だと思います。この作品で前向きに“生きる”ということを捉えていただけると、我々出演者としてのこれ以上のよろこびはありません」と、今こそ観てほしい作品であることを語る。市村は「自分で自分が出ている芝居を褒めるというのはなかなか照れくさいのですが、初演のときに志村けんさんが観に来てくださいまして、涙を流しながら『これが本当のミュージカルだ』と言ったのを思い出します」と振り返り、初演から多くの観客に愛された作品の3度目の上演に期待を寄せた。

エンターテインメント性も高く、ミュージカルファンはもちろん、舞台に馴染みのない人にも観やすくつくられた本作。心に響く「生きる」の世界をぜひ堪能してほしい。

取材・文／中川實穂　撮影／川野結李歌

■9月29日(金)～10月1日(日)　梅田芸術劇場メインホール
S席-14000円　A席-9000円　B席-5000円
【原作】黒澤 明 監督作品「生きる」
【作曲・編曲】ジェイソン・ハウランド
【脚本・歌詞】高橋知伽江　【演出】宮本亞門
【出演】市村正親・鹿賀丈史(Wキャスト)／
村井良大／平方元基・上原理生(Wキャスト)／
高野菜々(音楽座ミュージカル)／実咲凛音／福井晶一／
鶴見辰吾／他　※未就学児童は入場不可。

チケットの購入はコチラ！

9月	29	30	10/1
	金	土	日
12:30		○	○
13:00	○		
17:30		○	

発売中

～ぴあでチケットを購入するには？～

パソコン・スマートフォンで購入

①公式サイト(t.pia.jp)かチケットぴあアプリにアクセスし、会員登録。登録料・年会費は無料。
②購入したい公演を検索し、ご希望の開催日程や枚数をお選びください。
③お支払いの手続き。クレジットカード、コンビニ支払い、電子マネーで支払い可能。
④チケットの引き取り。※引取方法はチケットをご購入の際にご確認ください。

セブン-イレブンで購入　店内の「マルチコピー機」で、画面に従ってご操作ください。

無料でダウンロード
スマートフォンをお持ちの方は、チケットぴあアプリがより早く、便利です。
AppStore　Google play

隔月発行！

演劇情報フリーマガジン
ステージぴあ 関西版
劇場カレンダーやインタビューなど盛りだくさんの内容をお届け！関西の各劇場で入手いただけます。

原田美枝子主演。矛盾を抱えながら生きる、どうしようもなく愛しい登場人物を豪華俳優陣が描く——
桜の園
PARCO劇場開場50周年記念シリーズ
[作]アントン・チェーホフ　[英語版]サイモン・スティーヴンス
[翻訳]広田敦郎　[演出]ショーン・ホームズ
[出演]原田美枝子、八嶋智人、成河、安藤玉恵、川島海荷／松尾貴史、村井國夫 ほか
9/16(土)17:00・17(日)13:00　チケット料金 ¥11,000 ※全席指定・税金・未就学児入場不可
森ノ宮ピロティホール
チケット特別受付! [CNプレガイド]
9/13(水)23:59まで受付
0570-08-9930
http://cncn.jp/sakuranosono2023-m/
※先着順 ※お一人様４枚まで ※引取はファミリーマートまたはセブン-イレブン

CHOCOLATE PRODUCTION 2023
ガラパコスパコス
～進化してんのかしてないのか～
「老い」と「進化」という一見正反対のふたつのテーマを重ね、その先に描かれる滑稽で愛おしい人たちの物語
■作・演出：ノゾエ征爾
竜星涼　藤井 隆　青柳 翔　瀬戸さおり　芋生 悠
ノゾエ征爾　家納ジュンコ　山田真歩　菅原永二
高橋恵子 他
竜星涼を中心に、藤井隆、高橋恵子をはじめ、多彩な実力派が織りなす壮大なパラレルドラマ！
9/30(土)13:00/18:00・10/1(日)13:00　京都劇場
¥11,000 ※全席指定・税金 ※未就学児入場不可
【チケット一般発売日】8/27(日)10:00AM
●10/1(日)18:30・12(木)13:00 岡山公演あり
特別受付実施！　8/20(日)6:00～8/25(金)23:59
【チケットぴあ】 ※先着順 ※お一人様４枚まで
https://w.pia.jp/p/galapacospacos23k-megs/

KYODO KANSAI GROUP Information　https://kyodo-osaka.co.jp/　【お問い合わせ】キョードーインフォメーション 0570-200-888（11:00～18:00／日・祝休み）

SOZO TERUOKA
暉峻創三の特選シネマ

【暉峻創三】
映画評論家、大阪アジアン映画祭プログラミング・ディレクター。



第十八回「I～人に生まれて～」

主人公が性分化疾患（インターセックス）という設定で女生徒として新たな人生を歩み始める…。台湾映画ではあるが、監督は大陸出身の中国人という、珍しい座組で製作された作品であることにも留意したい。元々は監督であるリリー・ニー自身が温めていた企画。しかしこのセンシティブな題材を母国・中国で映画にすることは困難であることから、台湾映画としての製作に結実させた。

リリー・ニーにとって、本作は長編監督デビュー作に当たる。少女時代から中国で歌手としても活躍していた彼女（「I～人に生まれて～」で主題歌を唄っているのも彼女）だが、芸能人としての活動より、創作方面の道を進むことに関心を強め、アメリカの大学に留学して映画を学んだ。そして卒業式の日、男性の友人から、実は性分化疾患なのだと告白されたことが、本作を彼女に着想させた。映画のなかで、主人公はすぐに手術を受け、女性として学校にも受け入れられる。だが、それで万事良かったのか？という深い問いを、映画は発しているように見える。

「I～人に生まれて～」9月22日よりシネマート心斎橋にて公開

Classical Music Column 弾む音符の向こう側♪

磯島 浩彰（エンタメライター）
エンターテインメントの仕事に携わること35年。独自のネットワークでクラシック音楽や演劇の世界に切り込む。エンタメは人を元気にするチカラがある。こんな時だからこそ、エンタメの魅力をみんなに届けたいと、面白いネタを探しに、今日もホールや劇場を飛び回っている。

#18 巨星、墜つ！ 外山雄三マエストロの訃報に接し思うこと

先日の大阪交響楽団「第265回 定期演奏会」（23.8.9サンフォニーH）では、開演に先駆けて、予定には無いバッハの「G線上のアリア」が弦楽器で演奏されました。これは今年7月、92歳で亡くなった大阪交響楽団の名誉指揮者にして、日本人現役最高齢指揮者の外山雄三マエストロを偲んで行われた献奏とのこと。弦楽器奏者はチェロを除いて立奏。演奏に続いて黙禱が行われました。献奏の事を知らなかった私にとって、これはありがたいサプライズでした。外山さんの訃報に触れたものの、改めて故人を偲ぶ機会が無く、気持ちが宙ぶらりんの状態だったのです。

外山さんには2020年に一度、ロングインタビューをお願いしたことが有りました。気難しいマエストロだとの噂は絶えず、これまでの取材経験の中でいちばん緊張しましたが、外山さんもリラックスした雰囲気で、いろいろと話をしていただきました。3年前の事ですが、外山さんは大変お元気で、この調子だと故朝比奈隆さん（大阪フィル創立名誉指揮者）の93歳を超え、現役最高齢指揮者ブロムシュテットさん（NHK交響楽団桂冠名誉指揮者）の96歳をも超えて指揮をされるに違いないとさえ思ったほど。その時の記事は周囲の反応も良く、忘れられない取材となりました。そんな私にとって今回の献奏からの黙祷は、外山さんにお別れを告げる絶好の機会。改めて“お別れの会”は行われるようですが、私の中で区切りを付ける事が出来ました。

外山さんが最後にコンサートを指揮されたのは今年5月、バシフィックフィルハーモニア東京の「第156回定期演奏会」でした。シューベルトの交響曲第9番「ザ・グレイト」の演奏途中に気分を悪くされてステージを降りられましたが、カーテンコールでは車椅子で再び登場し、お客様にご挨拶をされたそうです。これが、最後の勇姿となりました。

今号の「MEG関西版」大阪4オケページ（13-14ページ）上段の記事は、大阪交響楽団首席ソロコンサートマスター森下幸路さんが、外山さんの思い出を語っておられます。興味深いエピソード満載ですが、とりわけ「外山先生が亡くなられても、私と先生はベートーヴェンやモーツァルトの音楽を通して、いつでも語り合うことが出来るのです」と笑顔で話されたのが印象的でした。音楽家って素敵ですね。ぜひ、記事をご覧ください。

災害級の暑さに気を取られているうちに、お盆を迎えていました。音楽家でもない私は、5年前に亡くなった親父と語り合う術など持っていません。せめて今年は、ちゃんとお墓参りをして、お墓掃除と、お気に入りの香りがする新しいお線香を手向けたいでしょう。皆様も上手く暑さを凌いで、どうぞご自愛くださいませ。

UE神のOn the Street



UE神［ウエシン］
元DEATH SURF 2000のヴォーカル、ギター。数多く音楽イベントのオーガナイズを経て、現在V-ZONEを主宰。ライターとして映画雑誌「映画秘宝」や関連ムック本、映画ソフト解説書などを手掛け、最新映画情報の番組「CINEMA NOON」を毎月配信中。

Vol.18 錯覚のススメ

それにしても酷暑、夏本番!! 不安要素が無いわけでは無いけど、コロナによる規制も緩和され、今年の夏こそは遠方に旅をして、しばし現実を忘れようと思ってる方多いでは？とはいえ、需要があれば価値は上がる、値上がりブームも共なって、宿泊代や交通費に食事代、娯楽施設の入場料や夏フェス等の料金高騰に、流石に無理な感じになってる方も多いはず。そんな時には視点を変えてみるのもいいなと改めて思う事が最近あった。予定が何もなかった先日の連休最終日、車検という不幸の手紙もやってきて（笑）仕方なく車屋さんに行く事に。日数がかかるという事で代車が出てきたが、これがなかなかの高級車。どこかでお茶ぐらいはしようと思ってたので、いつもとは違う道をドライブしながら帰る事になり、第二阪奈道路が出来て、あまり通らなくなっていた阪奈道路を通って帰宅する事に。昔よく通った外環状線も、新しいお店やショッピングモールが出来ていて、すっかり様変わりしていました。あの娘と行った、憧れの店は跡形も無くなっていて、なんともメローな気分で阪奈道路を登り出した。ぐるぐる回る山道を進みながら、どこでお茶しようかな？と思ってたら山頂に。そういえば去年の夏“生駒山上遊園地”に行った時に気になってたカフェがあった事を思い出した、無くなってたら嫌だなと思いながら向かっていると、アメリカの国道標識みたいな88と書かれた看板を発見。ばっちり営業中だった“カフェチャレンジャー88 生駒テラス店”アメリカ雑貨で彩られた店内も、いい感じの古着屋さんみたいで居心地良かったけど、積まれた薪も雰囲気満点なテラス席は、夏フェスやキャンプに来たような気分に錯覚してしまう様だった。ロコモコとコーヒーいただいて、ハワイ気分でアガってきたので、山上の遊園地にも行くか？ってなったけど、あまりの灼熱ぶりに“借賃生駒スカイライン”をドライブする事にする。料金所ゲートを越えて、木漏れ日が爽やか過ぎる山道を、車のCM気分でドライブしながら“パノラマ展望台”へ。さっきの熱が嘘のような爽やかな風が心地好い、大阪と奈良が一望できる展望台で缶ジュース飲みながら、暮れゆく夏の夕暮れを鯛の音をBGMに鑑賞。日が暮れて大阪の夜景がゆらゆらと綺麗になってきたので“鐘の鳴る展望台”へと移動。ここでは沢山のガラス風鈴が風にゆれる心地よい音色に、アメリカ西海岸で観た夜景を思いだし、旅情気分は高まるばかり(笑)現実をしばし忘れる、ちょっとした逃避行だった。現実をしっかり認識してから行動することを強いられるご時世ですが、こんなに暑い時ぐらい、自分に都合のいい感じで、現実を楽しく錯覚しながら過ごすのも、酷暑のやり過ごし方だと思う。今年はまだまだ暑そうだし、皆さんも“錯覚出来る場所”探してみて。案外近くに転がってるかも？

美術連載コラム ARTな散歩道

小吹 隆文（美術ライター）
関西を中心に活躍中。直接足を運んで作品世界に触れることをモットーとしている。

Vol.18 今秋最注目！Perfumeの大規模衣装展

女性3人組音楽ユニット「Perfume」。彼女たちの衣装をテーマにした展覧会「Perfume COSTUME MUSEUM」が、9月9日より兵庫県立美術館で開催される。

その内容を紹介する前に、基本的なデータをおさらいしよう。Perfumeは2000年に広島で結成された。メンバーは、あ～ちゃん、かしゆか、のっちの3人だ。2005年にメジャーデビューし、2007年に楽曲「ポリリズム」でブレイク、テクノポップを基調とする独自の音楽性とダンス・パフォーマンスが高い評価を受ける。その後もヒット曲を連発し、2012年には初の海外ツアーを実施、現在に至るまで世界規模の楽曲リリースとライブツアーを続けており、今や日本のポピュラーミュージックを代表する存在になっている。

本展では彼女たちが実際に着用した衣装が展示される。2020年に発売された書籍「Perfume COSTUME BOOK 2005-2020」（文化出版局）を起点に約170着が厳選されており、メンバーが本展のために特別に選んだ衣装、初公開となる型紙、発想源を示す制作資料も見られるなど、まさに見所満載だ。

展覧会は時系列の4章仕立てである。第1章「近未来型の接戦者」では、メンバーの個性を引き出すデザインの基本形（あ～ちゃん:膝丈、かしゆか:ミニ丈、のっち:パンツスタイル）を提案したスタイリスト内澤研、2010年の初の東京ドーム公演から衣装デザインを手掛けてきたクリエイティブディレクターToshio Takeda、三田真一の仕事を紹介。第2章「止まらない進化」では、クリエイター集団ライゾマティクスによる最新の映像技術を駆使した舞台パフォーマンスなどで見られた、幾何学模様のデザインや折り鶴から着想を得た独創的な衣装が展示される。

第3章「『未来』を超えて」では、2016年の楽曲「FLASH」で採用されたミディ丈の衣装や、3人が同じシルエットに見える衣装、プリーツとドレープで有機的な曲線を表現したデザインなど、これまでの定型を覆す衣装が見られ、最後の第4章「ステージに立つの」では、演出効果、機能性、身体の可動性、早替えのための重ね着等を考慮したステージ衣装にスポットを当てる。

このような展覧会を公立美術館で行うのは画期的だ。会場の兵庫県立美術館は巨匠建築家・安藤忠雄の設計で、2021年にはファッションデザイナー、コシノヒロコの展覧会を成功させている。そこで本展が行われるのは、ある種の必然だろう。Perfumeと衣装と美術館が美しい三角形を描き、美術展の新たな歴史が刻まれるに違いない。



◎9月9日（土）～11月26日（日）
「Perfume COSTUME MUSEUM」
■会場／兵庫県立美術館
■時間／10:00～18:00（入場は閉場30分前まで）
※月曜休（祝日の場合は開館、翌日休館）
■料金（税込）／一般¥1,800（前売り¥1,600）70歳以上¥900
大学生¥1,400（前売り¥1,200）高校生以下無料
［障がいのある方］一般¥450 大学生¥350
■お問合せ／TEL.078-262-1011 https://www.artm.pref.hyogo.jp/



MEG WEST VOL.18
2023.August
TAKE FREE
Mixture Entertainment Guide

Producer／石原 卓（questroom）
Publisher／福村 明弘（MOBYDICK PROMOTION）
Designer／赤坂 由有（goldfish projection）
Chief Editor／杉岡 ちず子（questroom）
Editor／紅粉 チコ
Brain／磯島 浩彰
Cover Photographer／内池 秀人（エクラン）
Illustrator／市橋 俊介
Interview／岩本 和子、東端 哲也、仲谷 暢之（アラスカ社）、村井 康司、田村 のりこ
Special Thanks／永井 敬子（questroom）
Printing／株式会社 朝日プリンテック
Distribution／株式会社 朝日オリコミ大阪

［掲載内容に関するお問合せ］MEG関西版編集室 TEL.06-6484-9711（クエストルーム株式会社）〒530-0047 大阪市北区西天満2-8-1 大江ビルヂング507 http://www.meg-net.com

BILLBOARD LIVE OSAKA

LIVE INFORMATION

全公演 好評 受付中!

ビルボードライブ大阪で9月に開催するおすすめライブ

SA:サービスエリア(スタッフサービス付きでお料理をお楽しみいただけるレストラン形式の席)
CA:カジュアルエリア(1ドリンク付きのカウンター席。ご注文はバーカウンターでお求めください)
※表示価格は税込



色褪せることを知らない"シュガー・ヴォイス"で実力派バンドメンバーと共にゴージャスに届ける、大人のクロスオーヴァー・ナイト

阿川泰子
CROSSOVER NIGHT 2023

9.5 [Sat]
SA:¥9,000 / CA:¥8,700
[1st] 開場16:00 開演17:00
[2nd] 開場19:00 開演20:00



結成40周年を迎えるJ-SOULレジェンドのファンキー&クールなショー

バブルガム ブラザーズ40周年
DA BUBBLEGUM BROTHERS SHOW

9.8 [Fri]
SA:¥7,900 / CA:¥7,400
[1st] 開場17:00 開演18:00
[2nd] 開場20:00 開演21:00



世界を席巻したポップ・レジェンド ハワード・ジョーンズが約4年ぶりとなる大阪のステージへ登場

Howard Jones

9.11 [Mon]
SA:¥9,400 / CA:¥8,900
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30



80年代を席巻した伝説のファンク・バンド ザップ。今は亡きロジャー・トラウトマンの意思を引き継いだ熱いファンク魂が炸裂するノンストップ・ショーは総立ち必至

Zapp

9.16 [Sat]
SA:¥12,000 / CA:¥11,500
[1st] 開場15:30 開演16:30
[2nd] 開場18:30 開演19:30



サックス奏者 MALTAのデビュー40周年と誕生日のW祝宴ステージ

MALTA Hit&Run
Birthday Special Live

"竹中俊二(gt) 加納新吾(pf) 平下政志(key) 樋沢達彦(bs) ジーン重村(dr)"
Special guest
【SOLO-DUO】ギラ・ジルカ, 矢幡歩

9.19 [Tue]
SA:¥8,000 / CA:¥7,500
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30



世代もジャンルも異なる3名の凄腕ベーシストが集結した最強のトリプル・ベース・ユニット

THE CHOPPERS REVOLUTION
(NARUCHO&IKUO&TAKA)
チョパレボ DANCE GROOVE 2023

9.21 [Thu]
SA:¥6,400 / CA:¥5,900
[1st] 開場17:00 開演18:00
[2nd] 開場20:00 開演21:00



巨星ウェイン・ショーターのトリビュート的内容のアルバムを携えてトリオで登場

新アルバム「Dolce Vita」発売記念

山中千尋
ニューヨーク・トリオ・ツアー2023

9.25 [Mon]
SA:¥7,800 / CA:¥7,800
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30



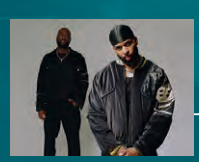
日英の気鋭が集結し、他文化との音楽的創造のステージを作り出す

Soccer 96 & Ghost In The Tapes
with guest ermhoi & Julia Shortreed Temple of Sound at Billboard Live

9.26 [Tue]
SA:¥7,400 / CA:¥6,900
[1st] 開場17:00 開演18:00
[2nd] 開場20:00 開演21:00

MEG読者様限定 // 抽選でビルボードライブ大阪にて開催ライブにペアご招待!

対象公演



9/4 (月) dvsn ディヴィジョン
[1st]開場17:00 開演18:00 [2nd]開場20:00 開演21:00



9/12 (火) Terrace Martin テラス・マーティン
[1st]開場16:30 開演17:30 [2nd]開場19:30 開演20:30

応募方法
下記項目を入力して、メールアドレス【present@billboard-live.com】までメールにてご応募下さい。
①お名前 ②フリガナ ③お電話番号 ④希望来場公演 ⑤希望来場ステージ(1st / 2nd) ⑥件名「MEG読者招待」

応募締切 8/27(日)
※当選の結果は、メールにてお知らせいたします。落選された場合、通知はございませんのでご了承ください。

公演詳細・最新情報などはオフィシャルサイトをチェック!
Webなら24時間予約が可能
www.billboard-live.com ビルボードライブ大阪
@Billboardlive_o @BillboardLiveOSAKA @Billboardlive_osaka

Official Sponsors Asahi Glico DaiwaHouse



